

いそごポケット

～磯子区統計白書 2014～



区のシンボルマーク（昭和58年10月制定）



このシンボルマークは、区民の交流と連帯の象徴として公募により制定されました。磯子区の頭文字「イ」をひらがなとローマ字の「i」（愛）で象徴化し、海に隣接する区にふさわしいよう、波と未来に向う太陽をデザインしたものです。

区の木・区の花デザインマーク（平成9年10月制定）



人と人の輪を円で表現。杉田の梅林と円海山をイメージして、海と山そして地球を表現しています。



2つのコスモスがやさしげに語りあっているようなイメージで描いています。

区の木・区の花のデザインマークは平成9年10月に区制70周年を記念して公募により制定されました。

磯子区マスコットキャラクター「いそっぴ」（平成23年4月制定）



磯子まつりのマスコットキャラクターとしてデザインされ、平成23年4月に磯子区のマスコットキャラクターになりました。磯子の英文字「I・S・O・G・O」をモチーフに、頭には「区の木」である「梅」を飾っています。

※「区の花」であるコスモスを頭に飾っているバージョンもあります。

磯子区地域福祉保健計画の案内役「梅さん」（平成18年4月制定）



梅さんは、平成18年度に策定された「磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチON磯子）（詳しくはP.25）」の案内役として生まれたキャラクターです。平成23年度からは第2期計画が始まり、平成25年には梅さんのイラストが新たにリニューアルされました。

地域福祉保健計画をより多くの区民の皆さんに知っていただけるよう日々奮闘しています。

I 磯子区の概要	
・地勢	1
・磯子区的主要データ	2
・人口	3
コラム1 ◆人口いろいろ	9
・産業	10
1. 第一次産業	11
2. 第二次産業	12
3. 第三次産業	13
コラム2 ◆経済センサスとは？	13
II 区民の生活	
・生活環境	14
1. 自治会・町内会	14
コラム3 ◆自治会町内会の加入のご案内	15
2. 安全・安心	16
3. 火災救急・地域防災	17
コラム4 ◆消防団の現状 ～あなたの力が必要です～	18
コラム5 ◆磯子区 安全・安心メール	21
4. 公園	22
5. ごみと資源物	23
コラム6 ◆ヨコハマ3 R夢！	23
6. 鉄道・道路交通	24
・福祉・保健	25
コラム7 ◆第2期磯子区地域福祉保健計画(スイッチON磯子Ⅱ)	25
子育て	27
高齢者	30
コラム8 ◆要介護度の判定について	31
障害者	32
生活保護	33
・保険・年金	34
コラム9 ◆国民年金について	34
・税金	35
III お役立ち情報	
・区民ニーズの把握について	37
・磯子区の予算	38
・磯子区の歴史年表	39
・町別の面積・世帯数・人口のデータ	42
・統計調査	44
・選挙	45
コラム10 ◆世界の選挙と投票率	47

ご利用に当たって

- ・数値の単位未満は四捨五入を原則としています。このため、統計の数字と内訳の計及び表・グラフの割合の計が一致しない場合があります。
- ・表、グラフ中の符号は次のとおりです。
「0」…ゼロまたは単位未満
「-」…皆無またはデータなし

「▲」… マイナス(-)

「X」… 数値が小さいため、秘密保護を目的に特に秘したものの

- ・本書に掲載した統計資料について更に詳細な数値等が必要な場合は、磯子区総務部総務課統計選挙係にお問い合わせください。

磯子区総務部総務課統計選挙係
TEL (045)750-2316~7

磯子区の概要

地 勢

磯子区は市の南東部に位置し、根岸湾に面した平地とそれを囲むように広がる丘陵地、その境にある斜面緑地からなっています。

昭和2年10月に、横浜市の区制施行により誕生した横浜市で最も古い区の一つで、区名は地域の中心である「磯子」の名がとられました。



戦前は別荘地や海水浴場として有名で、海苔の養殖でも知られていました。昭和34年頃から始まった根岸湾の埋め立てにより京浜工業地帯の一翼を担う重化学工業地帯がつけられました。これに伴い、汐見台や洋光台等で大規模団地開発がすすみ、さらに根岸線の延伸によりベッドタウンとして人口が急増しました。現在でも海づり施設やヨットハーバーなどで海が楽しめ、区南部には市内でも有数の大規模な緑地が広がり自然に接することができるなど、魅力あるまちであり続けています。

磯子区の主なデータ

	単位	磯子区	横浜市	基準日	順位	
面積	km ²	19.02	435.17	H24.10.15	14位	
人口	人	161,861	3,702,551	H25.10.1	13位	
世帯数	世帯	71,585	1,617,839	H25.10.1	14位	
1世帯当たり人員	人	2.26	2.29	H25.10.1	11位	
人口密度	人/km ²	8,510	8,508	H25.10.1	9位	
外国人人口	人	3,210	75,001	H25.9.30	8位	
高齢者(65歳以上)人口	人	41,032	804,890	H25.9.30	3位	
高齢化率	%	25.0%	21.7%	H25.9.30	3位	
昼夜間人口比率	%	83.8%	91.5%	H22.10.1	10位	
合計特殊出生率	—	1.30	1.31	H24	10位	
産業	第一次産業従業者数	人	25	1,514	H24.2.1	13位
	第二次産業従業者数	人	11,055	238,266	H24.2.1	9位
	第三次産業従業者数	人	35,839	1,188,820	H24.2.1	14位
犯罪発生件数(※)	件	979	29,440	H24	2位	
ごみと資源の総排出量削減率(対21年度比)	%	▲3.8	▲1.7	H24	2位	
自治会町内会加入率	%	78.8	76.6	H25.4.1	10位	
保育所待機児童数	人	0	0	H25.4.1	—	
生活保護 保護率	%	17.5	18.9	H25.3.31	9位	
投票率(H25参院選【選挙区】)	%	55.21	55.54	H25.7.21	11位	
投票率(H25年市長選)	%	30.00	29.05	H25.8.25	8位	
平成25年度予算(一般会計)	円	116億	1兆4,353億	H25	—	

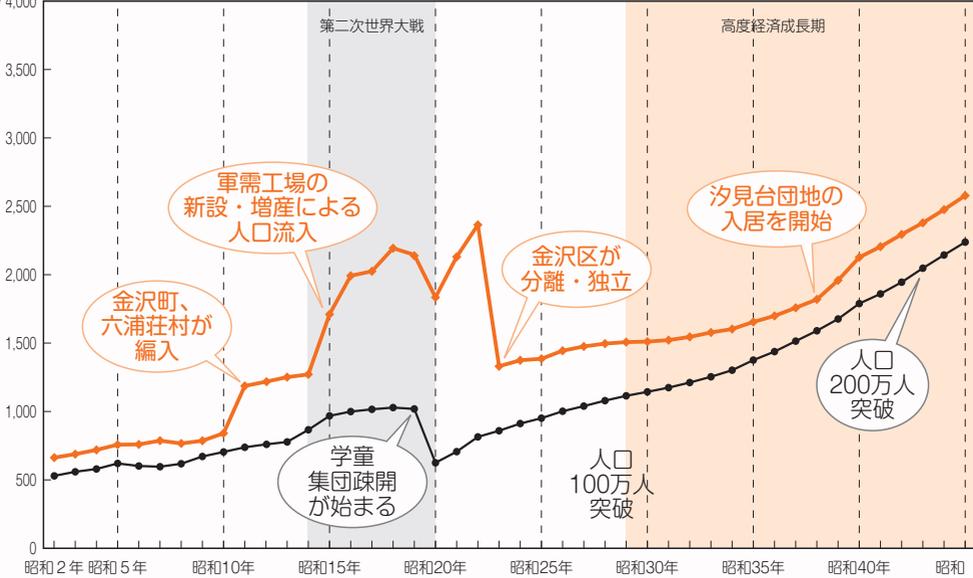
順位は横浜市内の数値の大きいものから順に並べた際の順位です。(※は数値が小さい方からの順位)

人口

◆横浜市と磯子区の人口の推移

〔横浜市〕

(千人) 4,000



区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・保土ヶ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)

ニューヨーク株式大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)

港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)

横浜大空襲(昭和20年)
西区誕生(昭和19年)
南区誕生(昭和18年)

磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)

テレビ放送開始(昭和28年)

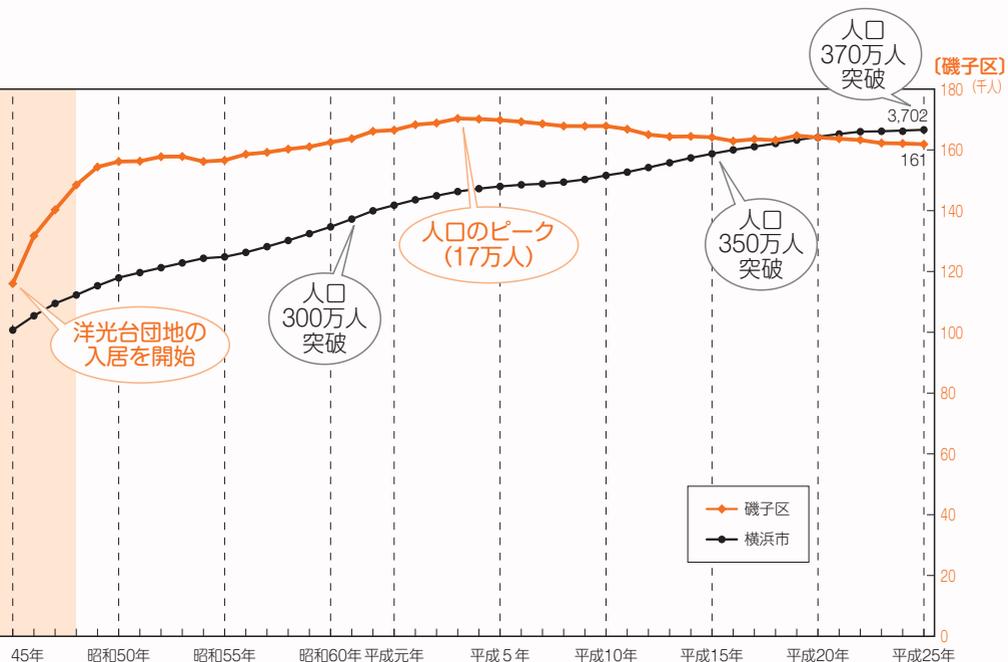
横浜開港100年(昭和33年)

マリントワー完成(昭和36年)

東京オリンピック開催(昭和39年)

港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生(昭和44年)

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。



45年 洋光台団地の入居を開始 (昭和48年)

昭和50年 JR根岸線が全線開通
石油危機(洗剤・トイレトペーパー不足が深刻化) (昭和48年)

昭和55年 磯子区制50周年(昭和52年)

昭和60年 人口300万人突破

平成元年 磯子区制60周年
区の木「梅」、区の花「コスモス」を制定(昭和62年)
栄区・泉区が誕生(昭和61年)
区のシンボルマークを制定(昭和58年)

平成5年 人口のピーク(17万人)

平成10年 人口350万人突破

平成15年 磯子区新総合庁舎が完成

平成20年 人口370万人突破

平成25年 3,702 (磯子区) 161 (横浜市)

区のマスコットキャラクター「いそっぴ」制定(平成23年)
東日本大震災(平成23年3月11日)
横浜開港150周年(平成21年)
磯子区制80周年(平成19年)

みなとみらい線開通(平成16年)
2002 FIFAワールドカップ日韓開催(平成14年)〜決勝戦は横浜で〜
磯子区制70周年(平成9年)
横浜国際総合競技場オープン(平成10年)

青葉区・都筑区が誕生(平成6年)
横浜ランドマークタワーオープン(平成5年)

※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。

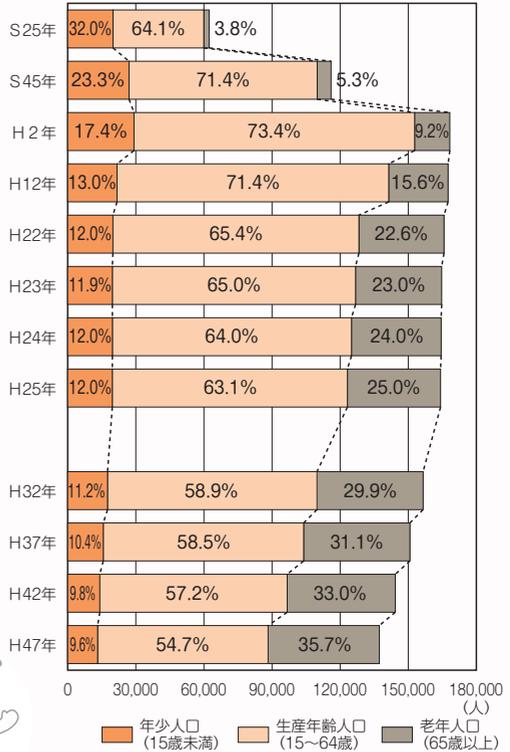
◆年齢三区分別人口の推移 ～少子高齢化がさらに進行～

年少人口(15歳未満)の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。平成17年からは12%前後で推移していますが、少子化が進行している状況といえます。

一方、老年人口(65歳以上)の割合は、増加傾向で推移し、磯子区では平成22年に総人口に占める割合が20%を超え、その後も増え続けています。平成25年には区民の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

現在25.0%となっている磯子区の老年人口の割合は、2015年(平成27年)には約27.5%、2020年(平成32年)には約30%となる見込みだよ。

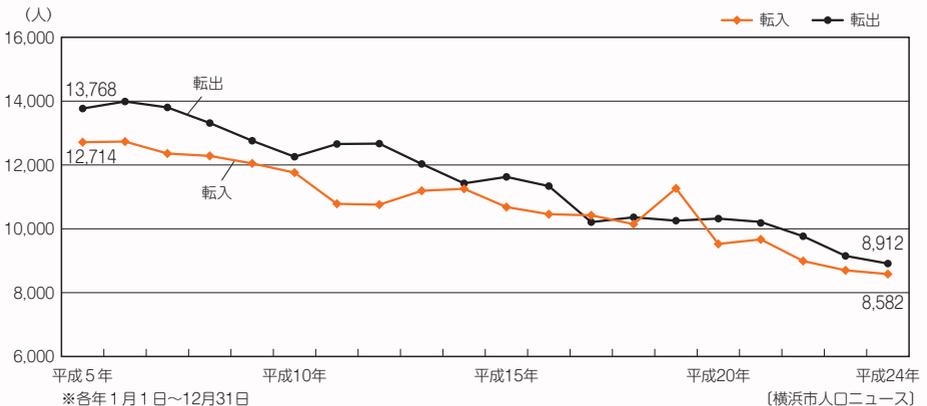
【資料】横浜市将来推計人口



※各年国勢調査、H12年以降は登録人口(各年9月30日現在)により掲載

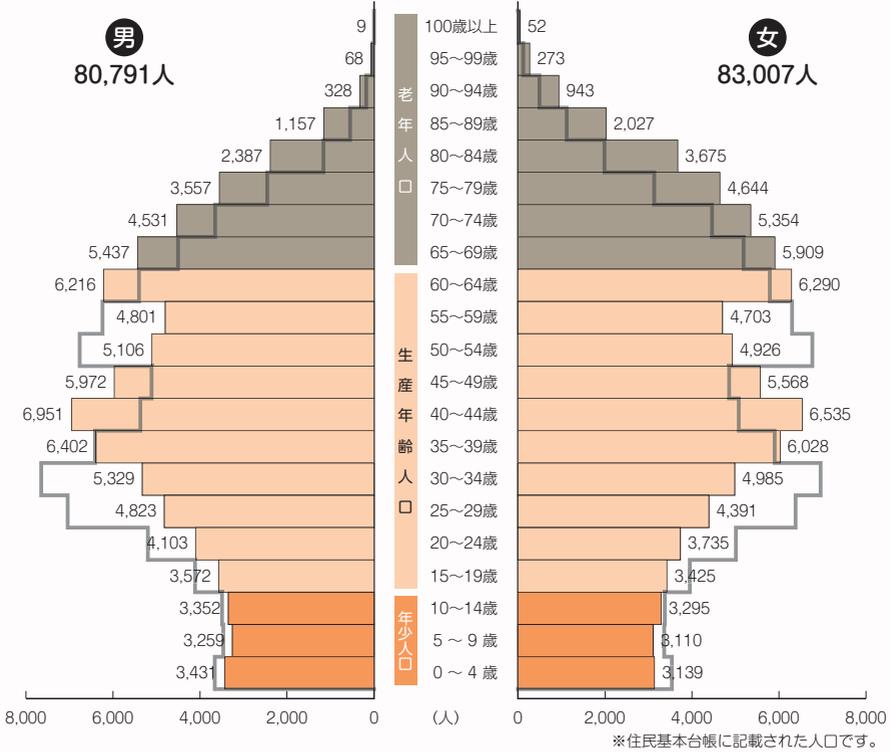
◆人口異動の推移(磯子区)

〈転入・転出の推移〉～ここ数年は転出超過傾向～

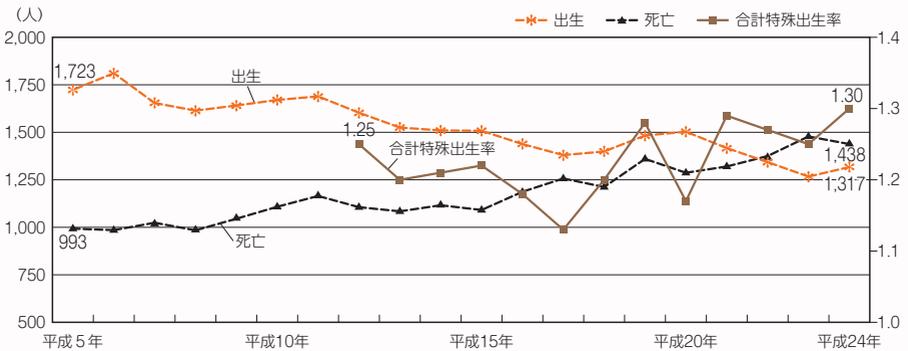


◆人口ピラミッド(磯子区)

平成25年9月末日現在
 ※ □ は平成15年9月末日現在



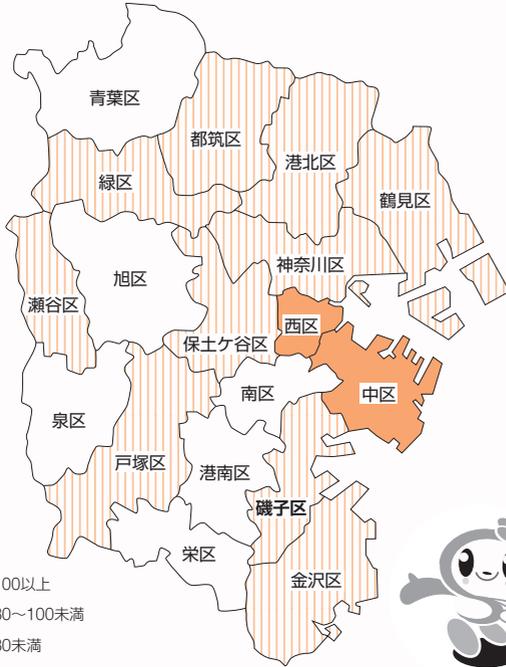
〈出生・死亡の推移〉～出生者数を死亡者数が大きく上回る～



※各年 1月1日～12月31日
 ※合計特殊出生率は、1人の女性が一生に産む子どもの平均数です。
 ※年齢15歳～49歳の年齢5歳階級ごとに算出した出生率の合計で、平成12年～24年までの数値を掲載しています。

(横浜市人口ニュース)

◆ 区別昼夜間人口比率



昼夜間人口比率とは、常住人口(夜間人口)に対する昼間人口の割合です。100を超えると通勤・通学等の流入が多く、その地域に昼間、人が集まっていることを示します。磯子区では、前回調査(平成17年)と比べて3.7ポイント、市全体で1.1ポイント上昇しました。

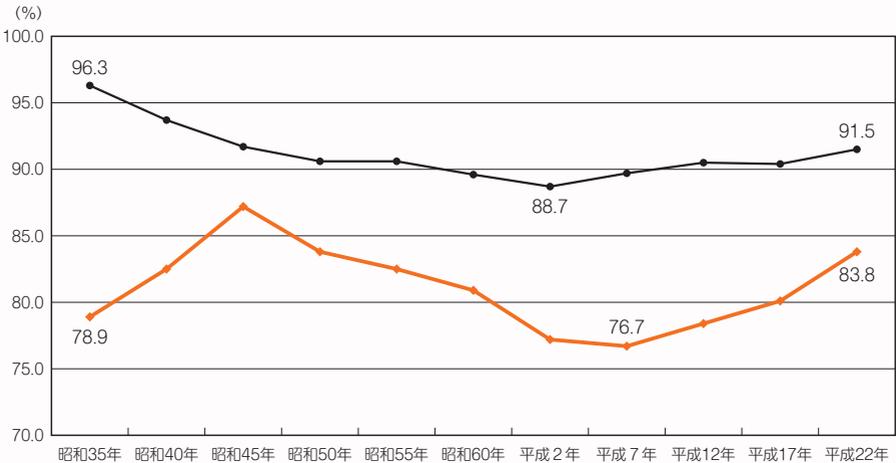
参考：西区 179.7%(全国13位)
中区 166.6%(全国22位)

磯子区の
昼夜間人口比率は83.8%で
横浜市内では
18区中、10番目だよ。
(平成22年10月1日現在)



(平成22年国勢調査)

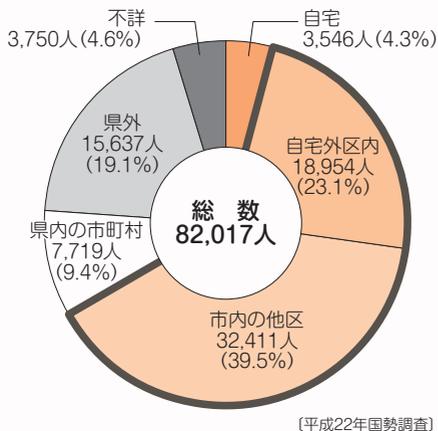
◆ 昼夜間人口比率の推移 ～上昇傾向に改善～



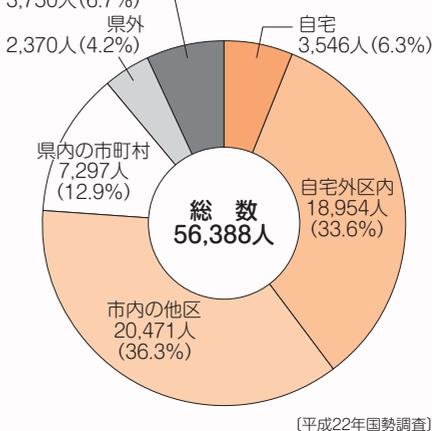
◆ 昼夜間人口比率(磯子区) ◆ 昼夜間人口比率(横浜市)

(各年国勢調査)

◆磯子区民の通勤・通学先 (15歳以上)



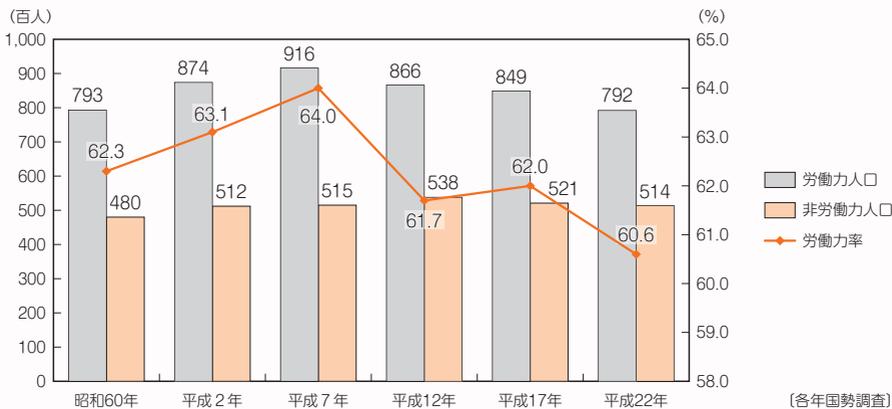
◆磯子区へ通勤・通学する人の住所 (15歳以上)



自宅で働く人を除き、市内で従業・通学する人の割合は、磯子区では62.6%(全市52.5%)で18区中1位だよ。(平成22年10月1日現在)

◆労働力人口 ～磯子区は大幅に減少～

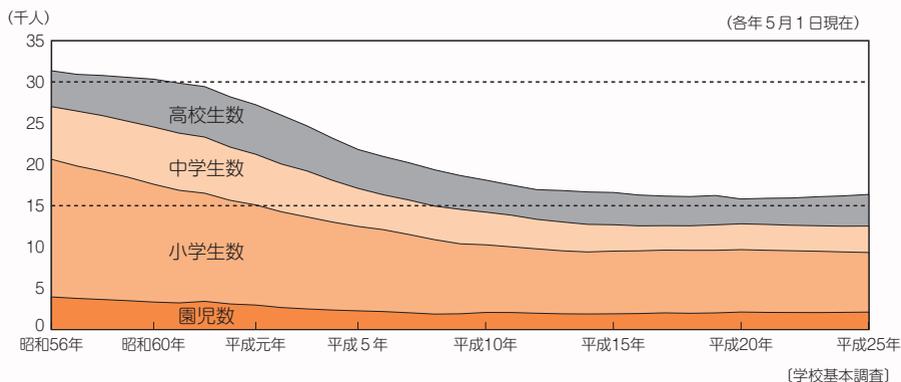
労働力人口とは、満15歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者(就業していないが、就職活動をしている失業者)の合計のことをいいます。磯子区の労働力人口は5年前と比べ6.7%も減少(全市1位)しており、市全体でも戦後初めて減少しました。



※昭和55年以前は、人口50万人以上の大都市等に限り集計・公表されており、磯子区の数字は集計されておりません。

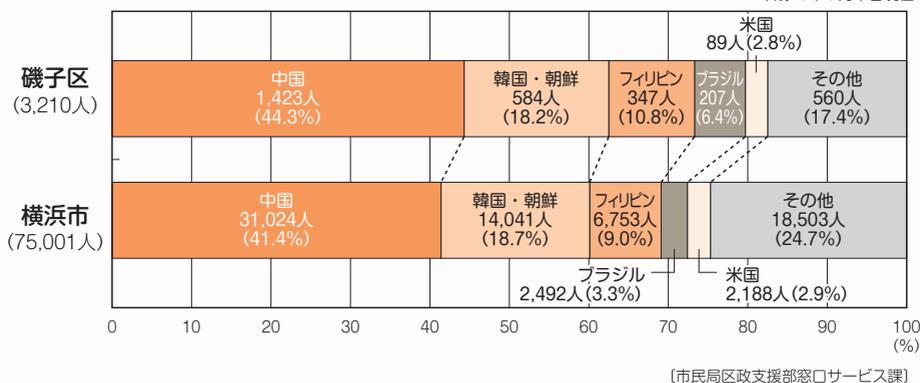
◆園児・児童・生徒数の推移(磯子区)

平成25年は園児2,109人、小学生7,223人、中学生3,119人、高校生3,838人、合計16,369名となっています。ピーク時(昭和56年、合計31,357名)と比べてほぼ半減しており、明らかな少子化傾向が見られます。



◆外国人人口 ～東南アジア諸国が7割超～

平成25年9月末日現在



コラム1

人口いろいろ

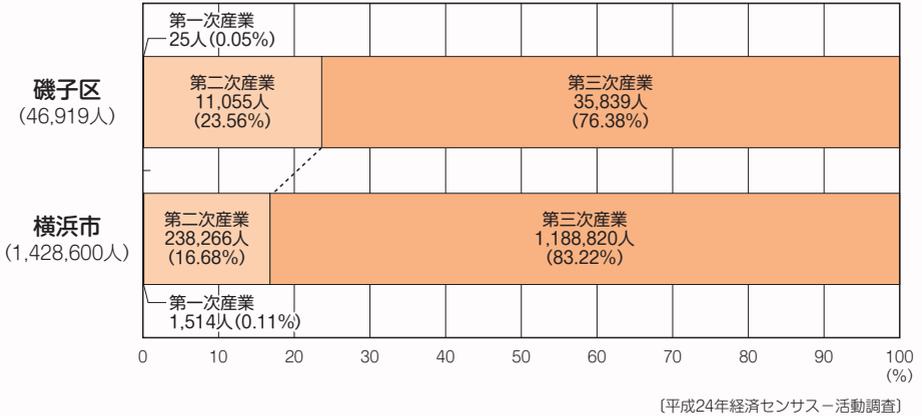
推計人口・・・直前に実施された国勢調査の人口を基に、その後の出生・死亡・転入・転出数等を加えて推計した人口で、表やグラフ等の資料に「**1日現在**」と標記されています。

登録人口・・・住民基本台帳に記載されている人口で、表やグラフ等の資料に「**末日現在**」と標記されています。

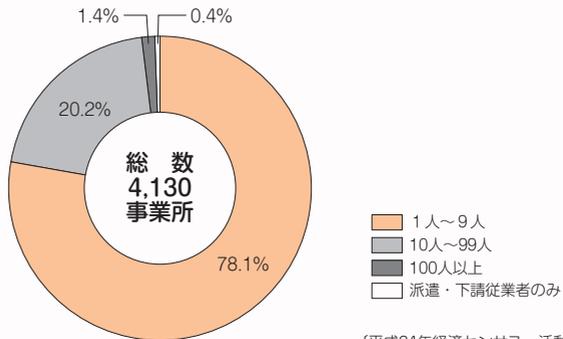
産 業

◆産業別従業者の比率 ～二次産業従事者割合の高い磯子区～

沿岸部に集積している大規模な製造業が多い等の理由により、全市と比べ第二次産業の割合が高くなっています。



◆従業者規模別事業所比率 (磯子区)



【第一次産業】 自然に働きかけて採取、狩猟を行う農業、牧畜、林業、水産業のこと。

【第二次産業】 製造業、建設業などの工業生産、また、第一次産業の生産品を材料にした加工業や地下資源を採取する鉱工業などのこと。

【第三次産業】 第一次産業や第二次産業に含まれない全業種のこと。情報通信業、金融業、運輸業、小売業、飲食店なども含めたサービス業・塾などの教育、公益事業などが含まれる。

1. 第一次産業 ～規模は小さくても健在～

農業〈区別農家数と耕地面積〉

	総農家数	販売農家	自給的農家		経営耕地面積(a) (販売農家)				
			うち専業	うち兼業	合計	田	畑	樹園地	
鶴見区	55	22	7	15	33	3,528	1,568	1,907	53
神奈川区	197	151	71	80	46	14,323	16	10,497	3,810
西区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中区	1	-	-	-	1	-	-	-	-
南区	11	3	2	1	8	X	X	X	X
港南区	90	50	16	34	40	2,988	148	2,202	638
保土ヶ谷区	144	95	41	54	49	8,143	23	7,533	587
旭区	379	168	67	101	211	12,207	-	9,532	2,675
磯子区	36	20	11	9	16	629	20	561	48
金沢区	73	31	10	21	42	1,116	-	926	190
港北区	448	249	114	135	199	16,268	762	12,877	2,629
緑区	430	258	83	175	172	20,071	2,970	12,296	4,805
青葉区	511	245	86	159	266	17,773	3,864	9,332	4,577
都筑区	564	344	144	200	220	22,489	1,079	17,399	4,011
戸塚区	389	225	112	113	164	18,178	1,289	14,395	2,494
栄区	151	65	29	36	86	3,879	604	2,890	385
泉区	461	313	139	174	148	29,105	2,454	20,851	5,800
瀬谷区	262	191	81	110	71	19,103	653	15,172	3,278
横浜市合計	4,202	2,430	1,013	1,417	1,772	189,848	15,450	138,393	36,005

2010年世界農林業センサス

磯子区の経営耕地面積は
横浜スタジアム(26,200m²)の約2.4個分だけど、
販売農家あたりの面積は、31aと
集計できた区で最小だよ。



漁業〈地区別漁業経営体数、海上作業従事者数の推移〉

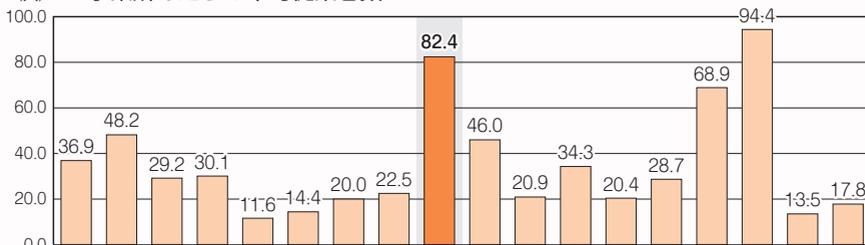
漁業地区	平成 10 年		平成 15 年		平成 20 年	
	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)
鶴見	16	36	17	41	14	42
神奈川	42	58	43	61	30	60
西・中	21	40	18	34	18	19
磯子	7	7	6	6	6	6
金沢	125	245	110	202	106	186
計	211	386	194	344	174	313

各年漁業センサス

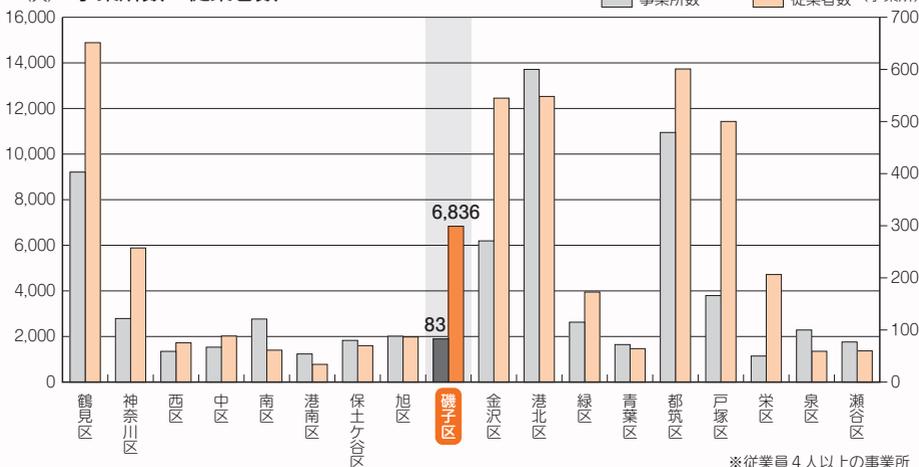
2. 第二次産業

〈区別事業所数・従業者数(製造業)〉～1事業所あたりの平均従業者数は18区中2番目～

(人) 1事業所あたりの平均従業者数



(人) 事業所数・従業者数



※従業員4人以上の事業所
(平成24年経済センサス活動調査)

〈区別製造品出荷額等〉～製造品出荷額等・1事業所あたりの製造品出荷額は横浜市No.1!!～

位	行政区	製造品出荷額等 (億円)
1	磯子区	145,664
2	鶴見区	71,239
3	金沢区	38,336

位	行政区	1事業所あたりの製造品出荷額 (百万円)
1	磯子区	17,550
2	栄区	4,790
3	神奈川区	2,796

平成24年経済センサス-活動調査

製造品出荷額等・
1事業所あたりの製造品出荷額
ともに横浜市No.1だよ!
市内でも工業が
盛んな区なんだね!

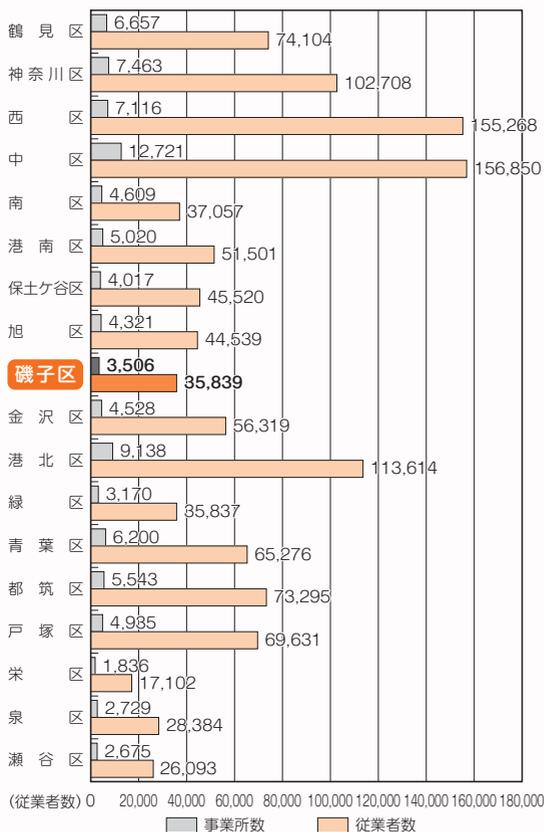


経済センサス
マスコット

3. 第三次産業

〈区別事業所数・従業者数〉～事業所数・従業員数は18区中14位～

産業大分類別に事業所数をみると、18区中すべてにおいて「卸売業・小売業」が最も多くなっています。



〔平成24年経済センサスー活動調査〕

〈業種別事業所数と従業者数(磯子区)〉

	事業所数	割合
卸売業、小売業	913	26.0%
	8,043	22.4%
宿泊業、飲食サービス業	547	15.6%
	3,736	10.4%
不動産業、物品賃貸業	414	11.8%
	1,267	3.5%
医療、福祉	412	11.8%
	6,223	17.4%
その他	1,220	34.8%
	16,570	46.2%
合計	3,506	100.0%
	35,839	100.0%

磯子区は卸売業・小売業の割合が高いね。
磯子区には8つの地域に14の商店街があるんだよ。
地域に根付き愛されている逸品もたくさん！



コラム2

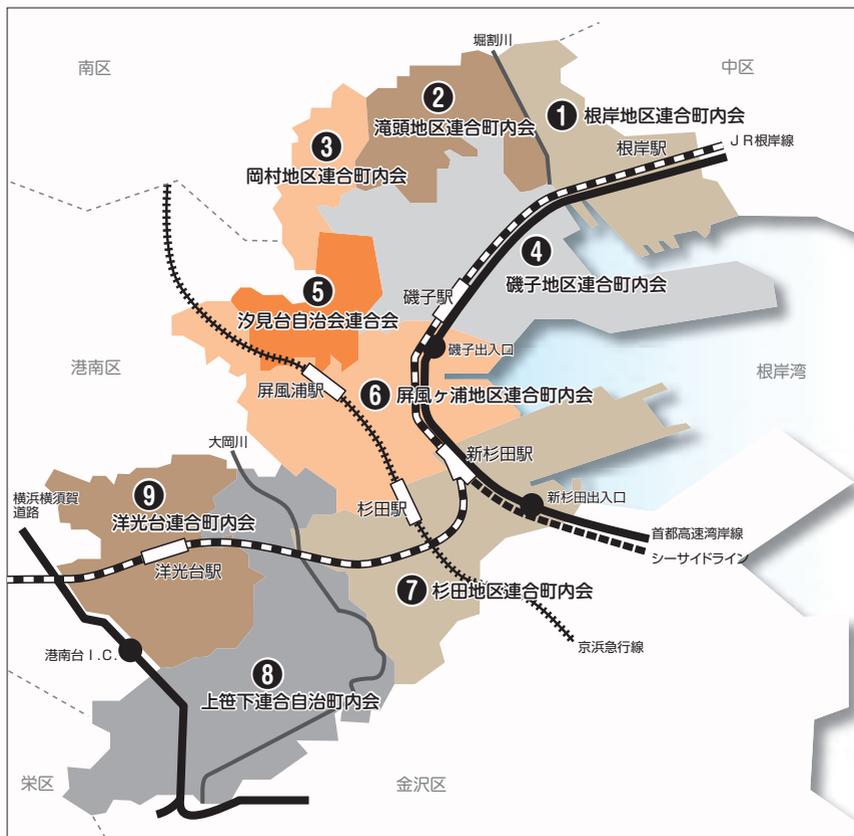
経済センサスとは？

経済センサスー活動調査は、「経済に関する国勢調査」とも言われています。会社やお店など、全国すべての企業、すべての事業所を対象とした調査です。

この調査の結果は国の各種行政施策のほか地域の産業振興、商店街や中心市街地の活性化のための施策、東日本大震災の復興資料等、地方公共団体の各種行政施策等のための基礎資料として利用されます。

1. 自治会・町内会

〈区内の連合町内会〉～165の自治会と9の連合町内会～



〈連合別自治会町内会数〉

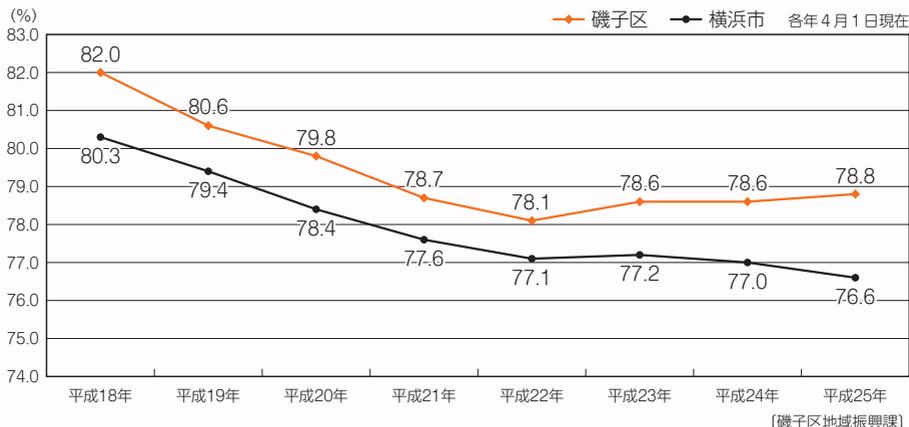
(平成25年6月28日現在)

	連合会、連合町内会名	加入自治会町内会数		連合会、連合町内会名	加入自治会町内会数
①	根岸地区連合町内会	13	⑥	屏風ヶ浦地区連合町内会	21
②	滝頭地区連合町内会	12	⑦	杉田地区連合町内会	17
③	岡村地区連合町内会	6	⑧	上笹下連合自治町内会	13
④	磯子地区連合町内会	16	⑨	洋光台連合町内会	17
⑤	汐見台自治会連合会	44		連合町内会未加入	6

(磯子区地域振興課)

〈自治会町内会加入率〉

磯子区の下降傾向にあった自治会町内会加入率は、ここ数年横ばいで推移していましたが、平成25年は78.8%と若干上昇に転じました。今後もより一層の加入率向上が求められるところです。



コラム3

自治会町内会の加入のご案内

磯子区には165(平成25年6月現在)の自治会町内会があります。日頃から地域の方との交流を深め、住みやすい地域づくりのためにも自治会町内会に加入しましょう。

例えばこのような活動をしています。

- 身近な情報をいち早く提供**：生活に密着した地域情報を回覧やポスターなどでお知らせする他、行政の広報紙などを配付しています。
- 楽しい行事やイベントの開催**：盆踊りや運動会などのレクリエーションの他、子供会活動の支援や社会福祉協議会などと協力して敬老会なども開いています。
- 地域の安全のための活動**：防犯パトロールや交通安全対策を行っています。また夜道の暗い場所に防犯灯を設置し、維持管理しています。
- 災害に強いまちづくり**：日頃から防災訓練を行い、災害発生時には避難所の運営や水・非常食の備蓄管理や要援護者の支援活動などの防災・減災に備えています。
- きれいなまちづくり**：公園の草取りや地域施設・ごみ集積所の清掃などまちの美化をすすめるとともに、資源物の集団回収などゴミの減量化活動にも関わっています。

【加入にあたっての問い合わせ先】

磯子区連合町内会事務局(磯子区役所地域振興課内)

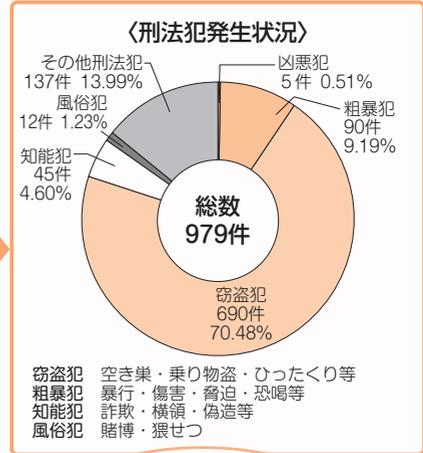
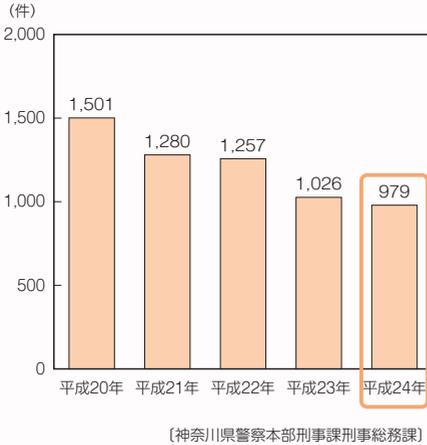
電話 750-2391

FAX 750-2534

2. 安全・安心 ～犯罪・事故数は6年連続で減少～

磯子区では、犯罪発生件数、交通事故発生件数及び死傷者数、放置自転車台数とも6年連続で減少しています。(グラフは過去5年分を記載)

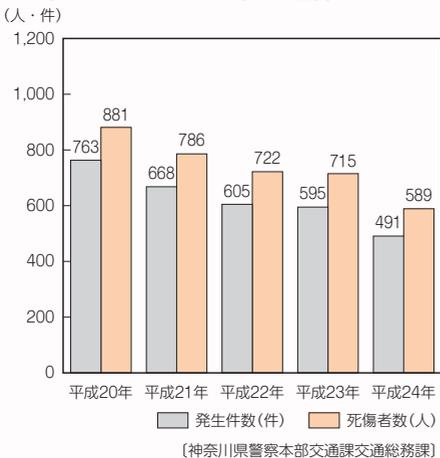
〈刑法犯発生件数の推移(磯子区)〉



磯子区は全市で
栄区の次に犯罪件数が
少なかったよ。

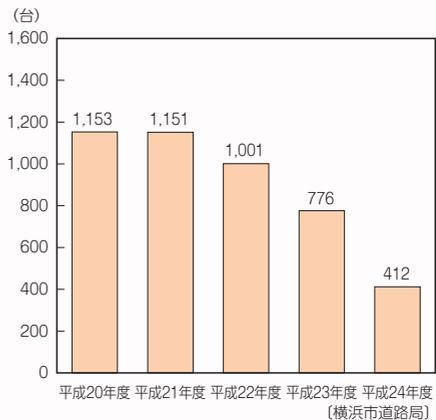


〈交通事故発生件数(磯子区)〉



〈放置自転車等台数

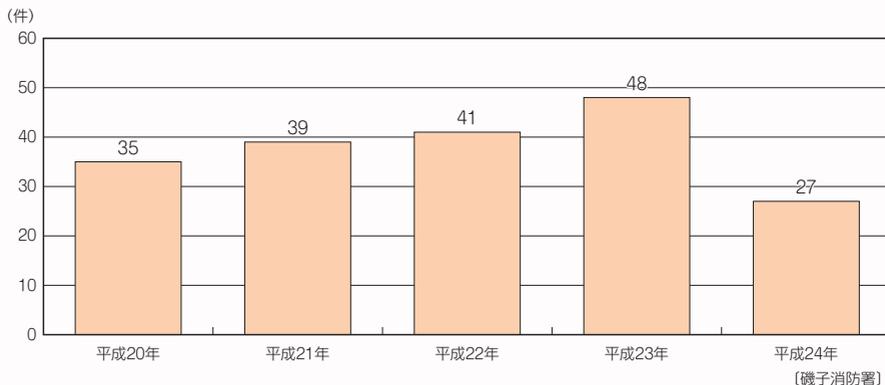
(50cc以上のオートバイ含む)(磯子区)



3. 火災救急・地域防災

〈火災発生件数及び概況〉～平成20年から増加傾向の火災件数は、4年ぶりに減少～

火災発生件数は平成20年から増加傾向にありましたが、昨年4年ぶりに減少しました。平成24年の27件という件数は、市内の他区と比較しても、栄区(21件)、瀬谷区(26件)に次いで3番目に少なく、磯子区は比較的火災の少ない環境にあります。



発生原因は、「放火(7件)」が最も多く、次いで「たばこ(5件)」「食用油(2件)」で、出火原因では「放火」が多い傾向にあります。

		20年	21年	22年	23年	24年
火災	合計	35	39	41	48	27
	建物火災	21	23	26	32	15
	林野火災	—	1	—	—	—
	車両火災	6	5	5	3	5
	その他火災	8	10	10	13	7
焼 損 面 積 (㎡)		524	413	411	1,804	209
死 者 (人)		—	4	—	4	1
負 傷 者 (人)		9	6	13	4	8
主な出火原因 (件数)	電気関係	(10)	放 火 (11)	放 火 (7)	放 火 (17)	放 火 (7)
	たばこ	(7)	電気関係 (6)	電気関係 (7)	こんろ (5)	たばこ (5)
	放 火 (2)	食用油 (3)	たばこ (4)	たばこ (4)	食用油 (2)	
			たばこ (3)			

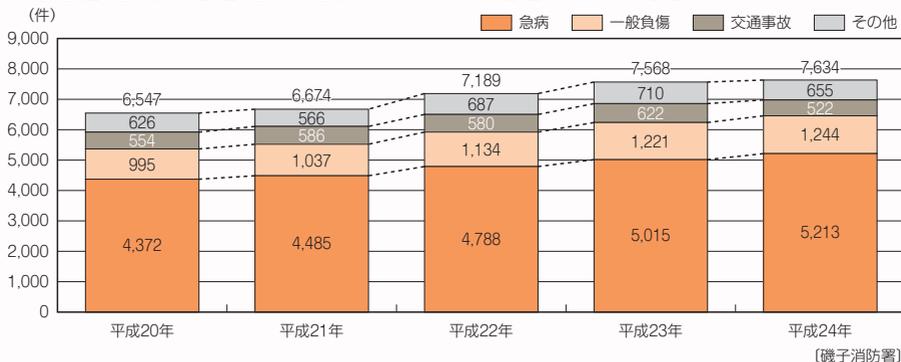
〔磯子消防署〕

汐見台地区連合は、地域全体で積極的な火災予防に取り組み、平成22年7月2日から平成25年7月2日までの3年間連続での火災ゼロを達成したよ！

他にも、平成25年4月1日には上笹下連合が1年間無火災、平成25年11月3日には杉田地区連合が1年間無火災を達成！
火災の無い街をみんなでつくっていきましょう！



〈救急出場件数及び出場内容内訳〉～平成20年から4年連続で増加～



救急出場件数は年々増加傾向にあり、磯子区でも昨年より66件増加して、7,634件でした。

平成24年の内訳をみると、「急病」による出動が最も多く5,213件で全件数の約7割を占めており、次いで「一般負傷(1,244件)」、「交通事故(522件)」と続きます。磯子区は、「急病」による救急出動の割合が横浜市全体の値をやや上回っております。

コラム4

消防団の現状 ～あなたの力が必要です～

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。さらにその設置や定数について、横浜市消防団の設置等に関する条例及び横浜市消防団員の定員、任命、給与、服務等に関する条例に基づき、18区に20消防団(中区に3消防団)が設置されています。(平成25年4月1日現在)

現在消防団員数は全国的に減少しており、横浜市においても平成13年度を境に年々減少し、現在の充足率は9割を下回っています。磯子区においては、平成25年4月1日現在で248人(充足率67%)と横浜市のを大きく下回っています。

(平成25年4月1日現在)

「愛する磯子」を災害から守るには、
あなたの力が必要です!

消防団名	定員	実員	充足率(%)
磯子消防団	370	248	67.0%
横浜市	8,305	7,154	86.1%

消防団の活動は消火や救助だけではありません。消火・救助活動はもちろんですが、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、防災指導や応急手当の指導などにおいて活躍しています。



消防団について知りたい、入団したいという方は、磯子消防署(☎753-0119)までお問い合わせください。

【入団資格】

- 区内在住・在学・在勤
- 18歳以上の心身ともに健康な人(性別不問)
- 年齢報酬のほか、一定の活動報酬、退職報奨金を支給

〈地域防災拠点〉～区内21か所を指定～

災害によって住む場所がなくなった場合などに一定期間避難生活を送る場所で、食料・資機材が備蓄されており、情報受伝達の拠点ともなります。

地域防災拠点一覧	住 所
① 根岸小学校	西町2-46
② 根岸中学校	西町17-13
③ 滝頭小学校	丸山2-25-1
④ 岡村小学校	岡村4-7-1
⑤ 磯子小学校	久木町11-1
⑥ 岡村中学校	岡村1-14-1
⑦ 山王台小学校	磯子5-2-1
⑧ 浜小学校	磯子台23-1
⑨ 汐見台中学校	汐見台1-2-1
⑩ 森東小学校	森1-4
⑪ 屏風浦小学校	森3-11-1

地域防災拠点一覧	住 所
⑫ 汐見台小学校	汐見台3-6
⑬ 森中学校	森5-22-1
⑭ 杉田小学校	杉田1-8-1
⑮ 梅林小学校	杉田5-13-1
⑯ 浜中学校	杉田3-30-11
⑰ さわの里小学校	上中里町548
⑱ 洋光台第一小学校	洋光台1-4-1
⑲ 洋光台第二小学校	洋光台4-15-1
⑳ 洋光台第三小学校	洋光台2-4-1
㉑ 洋光台第四小学校	洋光台6-6-1
㉒ 小田小学校	金沢区富岡西1-69-1

〈広域避難場所〉

広域避難場所は、地震による火災が多発し、延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るために一時的に避難する場所で、磯子区内では7か所が指定されています。

※⑧～⑪は区外近隣の広域避難場所

No.	広 域 避 難 場 所
①	根岸住宅地区
②	汐見台団地及び久良岐公園一帯
③	洋光台北団地
④	洋光台中央・南団地
⑤	磯子カンツリークラブ一帯
⑥	岡村公園

No.	広 域 避 難 場 所
⑦	坪呑公園
⑧	根岸森林公園
⑨	日野公園墓地及び日野中央公園一帯
⑩	港南台団地一帯
⑪	能見台北公園一帯

〈津波警報伝達システム〉

大地震による津波発生が予想される場合に、屋外スピーカーを使って避難を呼びかける設備です。磯子区内では9か所設置されています。

〈防災情報Eメール〉

◆横浜市では、地震震度情報、気象警報・注意報等を始めとする防災情報をEメールで配信するサービスを行っています。このサービスを携帯電話等で活用することにより、防災情報をいち早く入手することができます。

【配信登録先】

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/email/>

磯子区 安全・安心メール

～磯子区では犯罪・事故・火災情報を配信しています！～

磯子区では、警察署及び消防署と連携し、区内で発生した空き巣やひったくりなどの犯罪情報や交通安全情報、火災情報等を携帯電話・パソコンにメールで配信するサービス(利用料無料)を提供しています！

地域の皆様で情報を共有化することにより、日ごろの防犯活動・交通安全活動等に有効にご活用ください。

1 配信内容

区内で発生した主な空き巣や振り込め詐欺など、身近な犯罪発生情報や、区内で発生した交通事故情報、放火等の火災情報をお届けします。

2 配信されるのは？

警察署・消防署から提供される区内の犯罪・災害発生情報を、迅速に配信します(原則翌日配信)。

3 登録方法

次の方法で登録することができます。(いつでも登録解除できます。)

- 磯子区のホームページより登録



- メールを送信いただくことにより登録(下のバーコードで簡単に登録できます!)

(1) 送信先 isogo-safety-request@ml.city.yokohama.jp

件名 subscribe でメールを送信

※受信できるアドレスを指定している場合、isogo-safety-request@ml.city.yokohama.jpからのメールを受信できるように設定しておいてください。

(2) 件名「confirm〇〇〇〇(半角英数の文字)」というメールが届きます。内容を御確認の上、登録方法に従って登録してください。



【問い合わせ】 磯子区役所総務課防犯担当
T E L 750-2312
F A X 750-2530

4. 公園

〈区内の主な公園〉～緑あふれる区民のオアシス、公園は区内118か所に～



区内には118の公園や緑地(合計43.7ha)があって区民のオアシスとして利用されているよ。



〈磯子区の公園数・面積の内訳〉

	数	面積 (ha)
街区公園	104	16.3
近隣公園	6	9.5
地区公園	3	13.0
歴史公園	1	0.6
広場公園	1	0.1
都市緑地	3	4.2
合計	118	43.7

注) 久良岐公園の所在地は港南区になります。

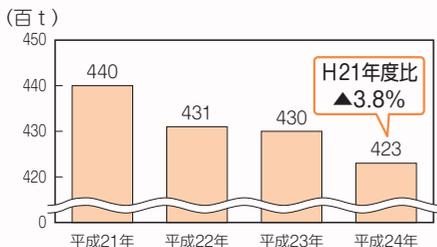
資料：緑被分布図
横浜市第9次緑地環境診断調査(平成21年度)

横浜市では、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、平成21年から「横浜みどり税」を導入し、様々な施策に取り組んでいます。(みどりアップ計画)

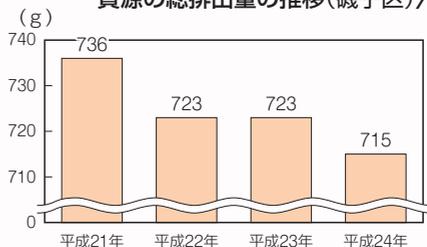
5. ごみと資源物 ～ごみの削減率は市内で2位～

平成23年1月に策定した「ヨコハマ3R夢プラン」では、ごみと資源(古紙、プラ、缶等)の総量の削減を目標としています。平成22・23年度と18区中1位だった磯子区のごみと資源の総量の削減率(対21年度比)は、平成24年度は18区中で2位でした。

〈ごみと資源の総排出量の推移(磯子区)〉



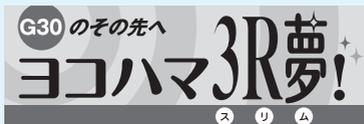
〈1人1日当たりのごみと資源の総排出量の推移(磯子区)〉



〈横浜市の目標〉

- ・平成21年度のごみと資源の総量を平成37年度までに10%以上削減
→中期目標として平成25年度までに3%以上削減
- ・ごみ処理に伴う温室効果ガスを平成37年度までに50%以上削減(平成21年度比)
→中期目標として平成25年度までに10%以上削減

コラム6



3Rを
よ3しくね!



「ヨコハマ3R夢(スリム)！」
マスコット イーオ

G30に続く新たな計画として横浜市ではヨコハマ3R夢(スリム)プランを推進しています。

3R夢とは…3R(スリーアール)によって更なるごみ減量と脱温暖化に取り組み、豊かな環境を後世に引きつぐことで、子どもたちが将来に「夢」を持つことができるまち・横浜の実現を目指します。

3Rとは、ごみ減量のキーワードである3つのR(頭文字)をまとめたものです。

〈発生抑制〉

Reduce (リデュース)

ごみそのものを減らす。

〈再使用〉

Reuse (リユース)

何回も繰り返して使う。

〈再生利用〉

Recycle (リサイクル)

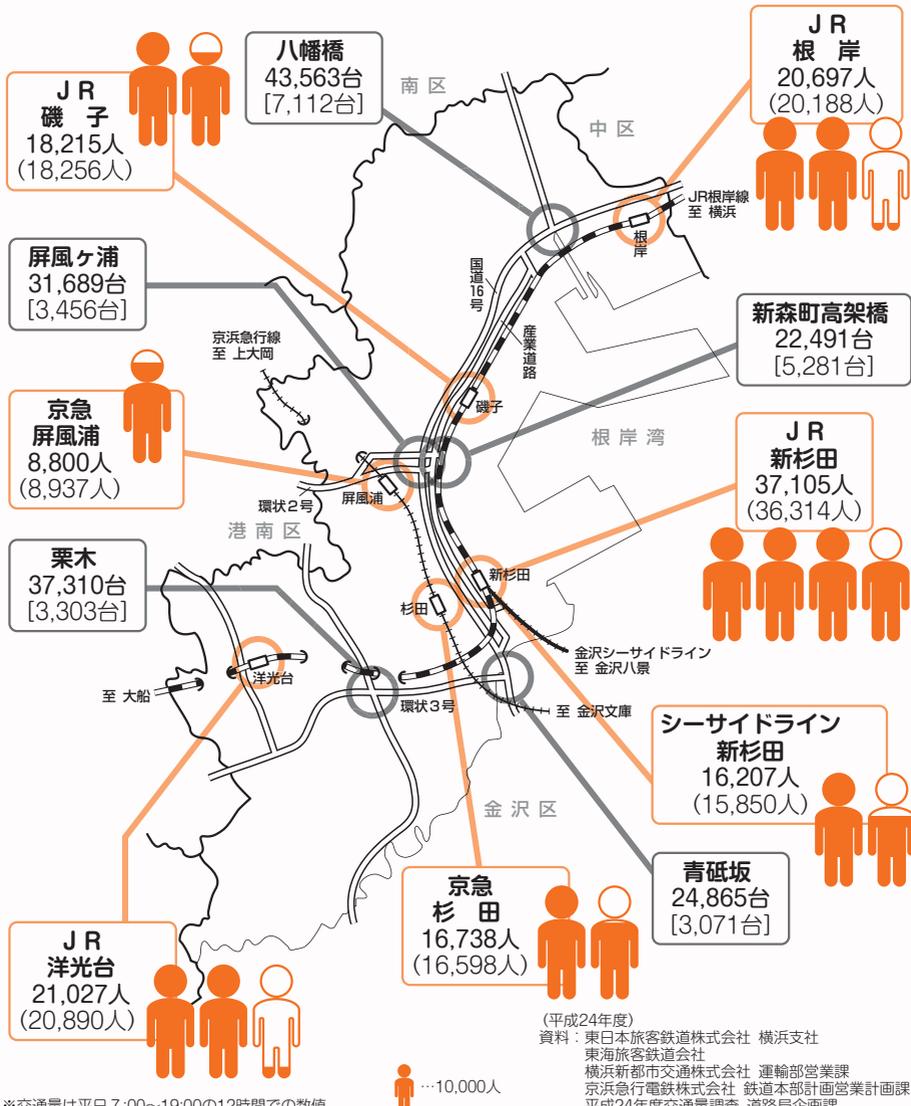
分別して再び資源として利用する。

6. 鉄道・道路交通

磯子区内にはJR線が4駅、京急線が2駅、金沢シーサイドラインが1駅あり、JR新杉田駅の乗車数が最大になっています。※〔 〕内の数字は平成23年度の乗車数です。

主要道路の交通量は八幡橋の交差点が最も多く、次いで栗木の交差点となっています。通行車種別では、トラックなど大型車の割合が最も高いのは新森町高架橋の交差点、乗用車などの小型車の割合が高いのは栗木の交差点となっています。※〔 〕内の数字は通行車数に占める大型車の台数です。

〔区内駅別乗車人員(一日あたり平均)及び主要道路の交通量(平日7:00~19:00)〕



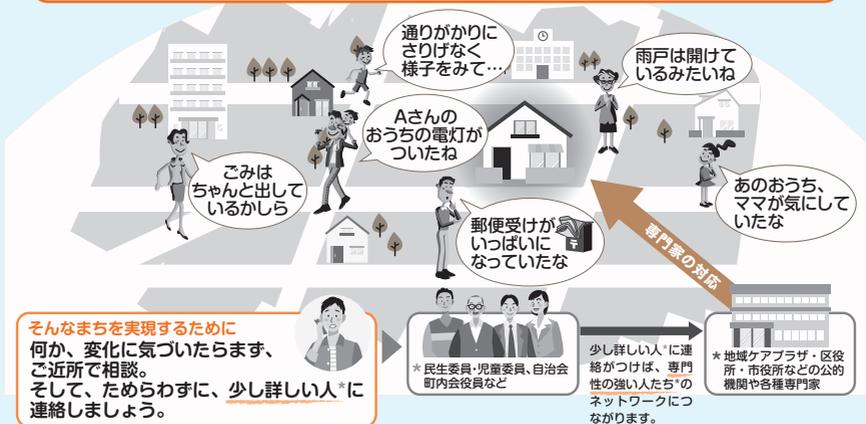
～誰もが幸せに暮らせるまちを目指して～ 第2期磯子区地域福祉保健計画 (スイッチON磯子Ⅱ)



地域に暮らす誰もが幸せな生活を送れるように、区民・地域団体・関係機関・区役所・区社会福祉協議会などが力を合わせて、**地域で支えあえる関係をつくることを目指した計画**です。

平成23年4月からの第2期計画では、「身近な地域で、さりげなく気配りや見守りが行われているまち」を目標にしています。

「身近な地域で、さりげなく気配りや見守りが行われているまち」イメージ図



第2期計画ではこのようなまちを目指して、区内全ての地区の皆さんに取り組んでいただきたい2つの共通テーマを設定しました。

この共通テーマについては、区役所・区社会福祉協議会が積極的に支援していきます。また、共通テーマ以外にも、地域では実情に応じてさまざまな福祉保健活動に取り組んでいます。

共通テーマ1 地域の支えあいの推進

【取組事例】 高齢者など支援を要する方への見守り・訪問

民生委員・児童委員や自治会町内会役員などが、一人暮らしの高齢者など支援を要する方のお宅を訪問したり、電話で様子を伺ったりするなど、支えあいの取組を進めています。訪問員の方には「訪問員証」を交付しています。(発行数累計：857(平成25年3月31日現在))

共通テーマ2 災害に備えた要援護者の地域でのサポート体制づくりの推進

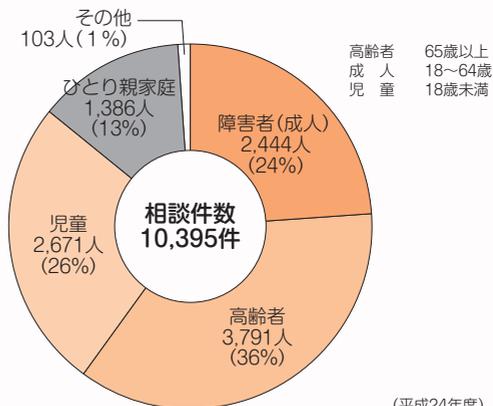
【取組事例】 救急医療情報キットの活用

救急医療情報キットは、万が一の救急時に備えて、あらかじめ緊急連絡先や持病等の情報を専用のシートに記入し、自宅の冷蔵庫に保管しておくものです。このキットの配付をきっかけとして、要援護者も含めた世帯状況の把握を進めています。

□ 配付数累計：18,907(平成25年3月31日現在)

◆福祉と保健の相談の内訳(磯子区)

福祉と保健の相談窓口では、ケースワーカー・保健師が連携して、高齢者(介護保険・一般行政サービス・訪問指導・介護予防等)、障害者(身体障害者手帳・精神保健福祉手帳・愛の手帳・手当・補装具等)、児童(保育所等)、ひとり親家庭(児童扶養手当・母子生活支援施設・就学資金貸与等)に関することなど様々な相談に応じています。



◆民生委員・児童委員活動件数(磯子区) ~民生委員による相談・支援件数は年々増加傾向へ~

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣委嘱され、地域住民の立場に立って様々な相談に応じ、必要な援助を行うことで地域福祉の増進に努めています。

(平成24年度)

活動項目		年間取扱件数(件)	相談支援に占める割合(%)	
相 談 支 援	内 容 別	在宅福祉	471	4.2
		介護保険	360	3.2
		健康・保健医療	3,960	35.5
		子育て・母子保健	680	6.1
		子どもの地域生活	650	5.8
		子どもの教育・学校生活	435	3.9
		生活費	92	0.8
		年金・保険	40	0.4
		仕事	23	0.2
		家族関係	324	2.9
		住居	173	1.6
		生活環境	483	4.3
		日常的な支援	1,613	14.5
		その他	1,844	16.5
		計	11,148	
分 野 別	高年齢者に関すること	8,296	74.4	
	障害者に関すること	310	2.8	
	こどもに関すること	1,798	16.1	
	その他の	744	6.7	
	計	11,148	100.0	

*項目は厚生労働省報告例によります。

(磯子区福祉保健課)

◆子育て ～様々な保育資源を活用した子育て支援サービス～

〈区内の保育所〉

保育所は、保護者が働いていたり、病気などで乳幼児を日中保育できないときに保護者に代わって保育する児童福祉施設です。

磯子区には、4か所の公立保育所と19か所の民間保育園があります。

またそれ以外の保育サービスとして、**横浜保育室**(認可外保育施設のうち、施設基準や保育料・保育時間等について横浜市が独自に設けた基準を満たした施設で、横浜市が助成している施設)や、**家庭保育福祉員**(産休明け児から3歳未満児までを対象に、保護者が仕事や病気等で昼間お子さんを保育できないときに、福祉員の自宅で、少人数の家庭的な雰囲気の中で保育する)、**横浜市家庭的保育事業**(NPO法人や民間事業者等のノウハウや機動性を活用し、事業者が確保する居宅等において、事業者が雇用する複数の家庭的保育者等によって児童の保育を行う施設)といった制度もあります。

磯子区内には横浜保育室が5施設(うち1施設休止中(H25.4.1現在))、家庭保育福祉員が3名、横浜市家庭的保育事業が1か所あります。

入所状況一覧

	名 称	定員(人)	入所者数(人)
公立	① 滝 頭 保 育 園	60	58
	② 杉 田 保 育 園	60	53
	③ 東 滝 頭 保 育 園	106	115
	東滝頭保育園(分園)	18	17
④	洋 光 台 第 二 保 育 園	109	115
民間	⑤ 杉 田 幼 児 園	127	109
	⑥ 森 幼 児 園	80	71
	⑦ 日 枝 幼 児 園	110	72
	⑧ 岡 村 幼 児 園	110	112
	⑨ 横 浜 ナ ー サ リ ー	140	139
	⑩ 屏 風 ケ 浦 保 育 園	90	102
	⑪ 金 剛 保 育 園	140	144
	⑫ 汐 見 台 愛 育 園	75	82
	⑬ つくしんぼ保育園	45	45
	⑭ ベガサスわくわくランド	60	58
	⑮ 洋光台中央福澤保育センター	90	104
	⑯ 新杉田のびのび保育園	120	128
	問	⑰ 根岸星の子保育園	60
⑱ 原町星の子保育園		45	35
⑲ アスク新杉田保育園		40	39
⑳ 洋光台保育園		60	60
㉑ 太陽の子磯子保育園		81	73
㉒ 屏風ヶ浦はるかぜ保育園		60	49
㉓ にじいろ保育園新杉田		80	48
計		2,036	1,950

※データは全て平成25年4月1日現在

NPO法人等を活用した横浜市家庭的保育事業

	名 称	定員(人)	入所状況(人)
①	チームナーサリーBig Hug	9	9

家庭保育福祉員

	名 称	定員(人)	入所状況(人)
①	岩原典子	5	4
②	池田恵子	5	1
③	黒川貴美枝	5	4

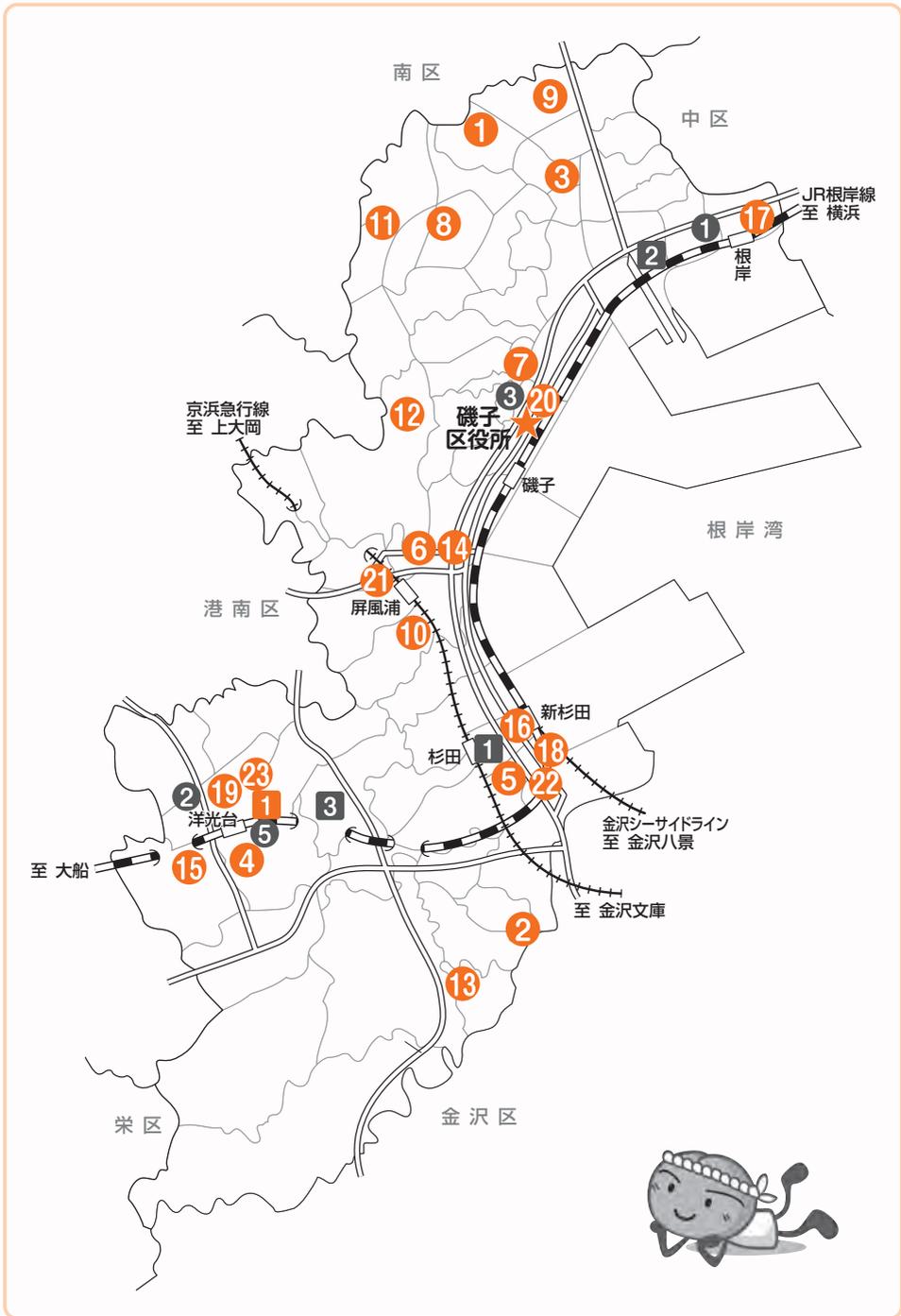
横浜保育室一覧

	名 称	定員(人)	入所状況(人)
①	星の子保育園	46(85)	59
②	マミーベアーズ洋光台	24	19
③	おひさま保育園	35	31
④	洋光台ファミリールーム	23	休止中
⑤	第2ファミリールーム	32(42)	41

※()内は3歳以上も含んだ施設定員



保育所の空き状況は
区HPでも定期的に
掲載しているよ。



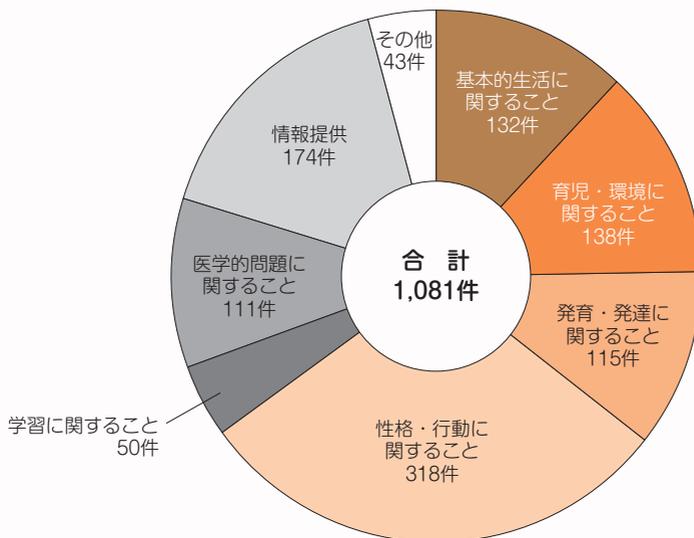
〈母子家庭健康手帳交付数・乳児健診受診者数(磯子区)〉

乳幼児健診では、心身の発達のチェックや疾病異常の早期発見に努めるとともに、保健指導・栄養指導を行っています。また、必要に応じて経過観察によって乳幼児の健康増進にも取り組んでいます。

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
母子家庭健康手帳交付数		1,446	1,453	1,363
4 か月児	受診者数／対象者数	1,277／1,330	1,241／1,280	1,249／1,268
	受診率	96.0	97.0	98.5
1 歳 6 か月児	受診者数／対象者数	1,373／1,444	1,263／1,346	1,235／1,324
	受診率	95.1	93.8	93.3
3 歳児	受診者数／対象者数	1,285／1,369	1,325／1,414	1,244／1,324
	受診率	93.9	93.7	94.0

(磯子区子ども家庭支援課)

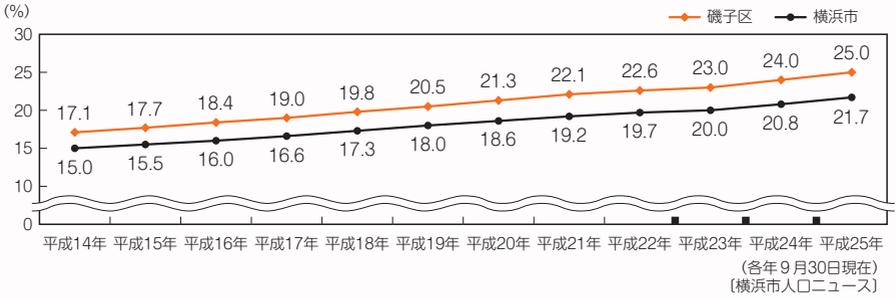
〈子ども・家庭支援相談事業の相談実績(磯子区)〉



(平成24年度)
(磯子区子ども家庭支援課)

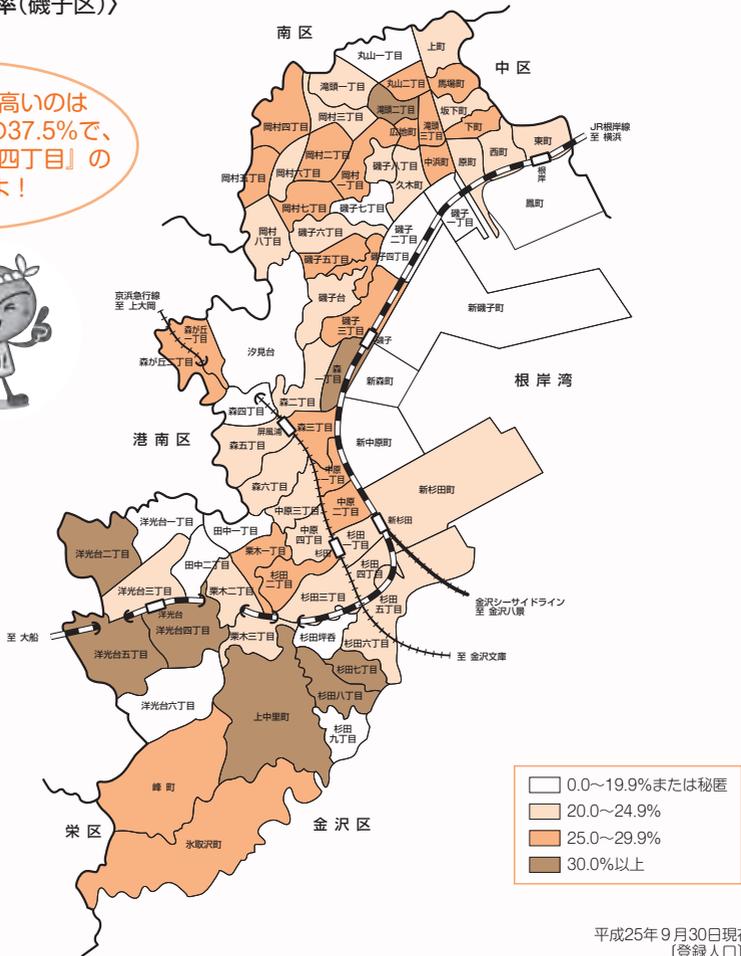
◆高齢者

〈高齢化率の推移(横浜市・磯子区)〉



〈町別高齢者率(磯子区)〉

高齢化率が最も高いのは『洋光台二丁目』の37.5%で、最も低いのは『森四丁目』の14.7%だよ!

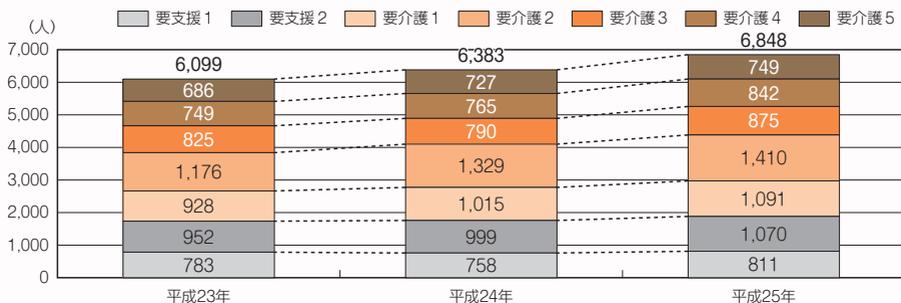


〈要介護(支援)認定者の状況(磯子区)〉～1年間で約500人の増加～

高齢者の介護を社会全体で支えていくために設けられたのが介護保険制度です。

介護保険のサービスを利用するためには、区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)で申請を行い、認定を受ける必要があります。

要介護(支援)認定者数は6,848人(前年同期6,383人)と増加しています。



平成25年3月31日現在
(磯子区高齢・障害支援課)

コラム8

要介護度の判定について

要介護度の判定は、介護サービスの必要度(どれくらい介護サービスを行う必要があるか)を判定するものです。したがって、申請者の「病状等が重くなった」ことにより、必ずしも「高い要介護度に判定」されるものではありません。

なお、判定は申請時の状況に基づいて行われますが、その後心身の状態に変化が生じ、介護の必要度が変わった場合には、要介護度の変更申請を行うことができます。

要介護度が上がると利用できるサービスの限度額は増えますが(下記参考参照)、サービスによっては利用単価が上がるなど、自己負担額は増加する場合があります。

変更申請を行う際には、事前にケアマネージャー等と相談することをお勧めします。

●参考(居宅サービスの利用限度額)

要介護度		1か月あたりの居宅サービスの利用限度額※	
要支援	要支援1	約5万円	
	要支援2	約10～11万円	
要介護	要介護1	約17～18万円	
	要介護2	約19～21万円	
	要介護3	約27～29万円	
	要介護4	約31～33万円	
	要介護5	約36～39万円	

※居宅サービスを上限まで利用した場合の目安の金額。(この範囲内において、1割の自己負担でサービスの利用が可能(限度額を超えた分は全額自己負担))
※食費・部屋代等が発生する場合には別途

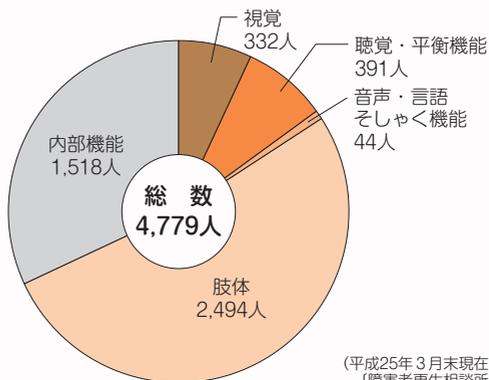
(平成25年度)

◆障害者(磯子区) ～手帳保持者は年々微増中～

障害のある方の手帳は3種類あります。各手帳をお持ちの方は障害の種類や程度に応じて在宅生活の支援や外出の支援、手当等各種制度を利用できます。

〈身体障害者手帳所有者数〉

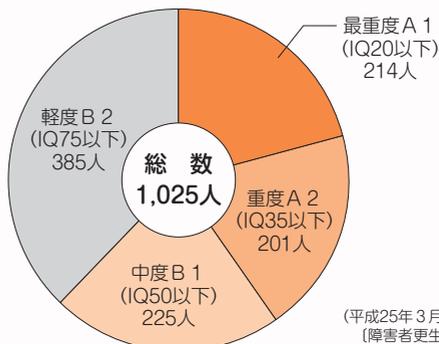
手帳の交付対象となるのは、視覚、聴覚、平衡機能、音声機能、言語機能、そしゃく機能、肢体、内部機能に永続する障害があり障害等級表に該当する方で、障害の程度により、1級から6級までの区分があります。



(平成25年3月末現在)
【障害者更生相談所】

〈愛の手帳(療育手帳)所持者数〉

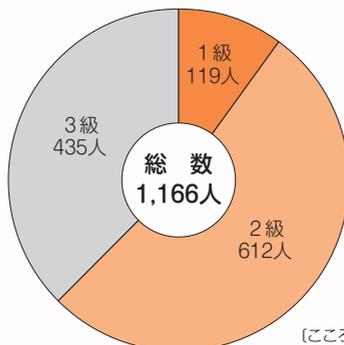
手帳の交付対象となるのは、児童相談所または横浜市障害者更生相談所で知的障害と判定された方で、障害の程度によって4段階に区分されます。磯子区内の愛の手帳所有者は全体で1,025人ですが、そのうち358人(34.9%)が18歳未満です。



(平成25年3月末現在)
【障害者更生相談所】

〈精神保健福祉手帳所持者数〉

手帳の交付対象となるのは、精神障害のため長年にわたり日常生活又は社会生活への制約がある方で、障害の程度によって1級から3級までに区分されます。磯子区内の精神保健福祉手帳の所有者は1,166人で、年々増加傾向にあります。

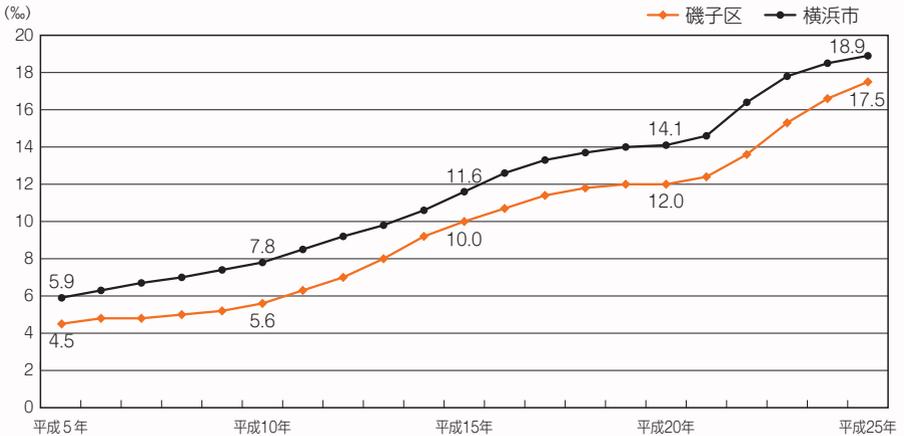


(平成25年3月末現在)
【こころの健康相談センター】

◆生活保護 ～保護率も年々増加～

〈保護率の推移〉

平成24年度末の生活保護率(人口1,000人当たりの生活保護者数)は、横浜市の平均(18.9%)よりは低いものの、平成元年以降で一番低かった平成5年(4.5%)と比較すると約3.9倍になっています。



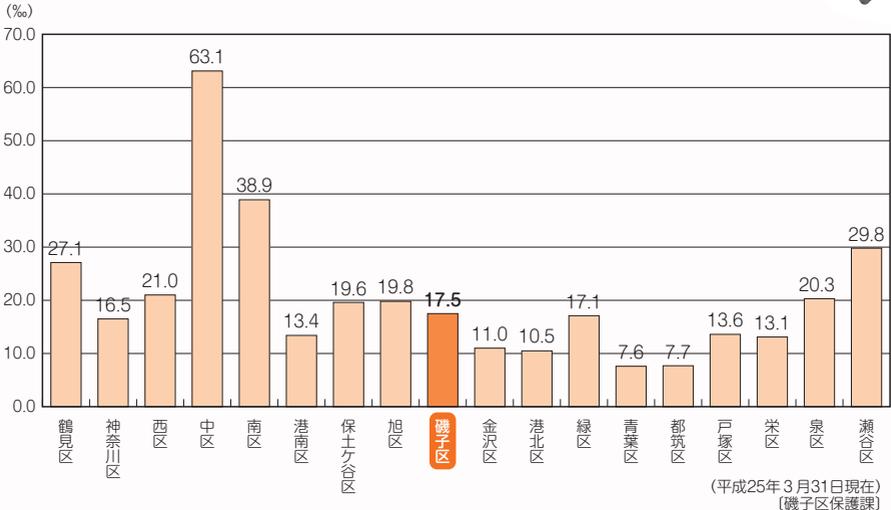
※保護率(%)=被保護人員/人口×1,000

(各年3月末日現在)
(磯子区保護課)

磯子区の保護率は18区中9番目。
ちょうど真ん中くらいだね。



〈区別保護率〉



(平成25年3月31日現在)
(磯子区保護課)

保 険 ・ 年 金

～4人に1人が国民健康保険に加入 サービスの維持を目指して～

(平成25年3月末現在)

	国民健康保険被験者数(加入率)	後期高齢者医療制度被保険者数
磯子区	42,095人(26.10%)	18,748人
横浜市	912,325人(24.70%)	353,143人

〈国民健康保険料の現年度分収納率と口座世帯現年度分収納率〉

平成24年度の磯子区の現年度分収納率は18区中11位、口座振替を利用している世帯の収納率は16位となっています。全国的に口座振替率の向上が収納率の向上につながる傾向があり、横浜市でも、栄区や泉区など口座世帯の収納率が高いところでは、現年度分の収納率も高くなる傾向があります。



〈国民皆保険制度とは?〉

日本では、病気やけがをした場合に、その経済的な負担を軽減し、安心して治療が受けられるように、必ずすべての方が何らかの医療保険制度に加入することになっています。これを国民皆保険制度といい、会社等の健康保険(健康保険組合、共済組合、協会けんぽなど)に加入している方、生活保護を受けている方を除き、国民健康保険に加入しなければなりません。

コラム9

国民年金について

「 」は磯子区の加入者数
(平成25年3月末現在)

国民年金は、老齢、障害及び死亡により生活の安定が損なわれないうつ、健全な国民生活の維持・向上を図るため自営業者等を対象にして昭和36年4月に発足しました。

加入種別	対 象 者
1号被保険者	〈強制加入〉 日本に住む20歳以上60歳未満の自営業者、自由業者、学生、無職の人「 21,304人 」 〈任意加入〉 日本に住む60歳以上65歳未満の人、20歳以上65歳未満の在外邦人「 534人 」
2号被保険者	厚生年金、共済組合に加入している70歳未満の人(ただし、老齢年金の受給資格のある人は65歳未満)
3号被保険者	厚生年金、共済組合加入者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人「 14,143人 」

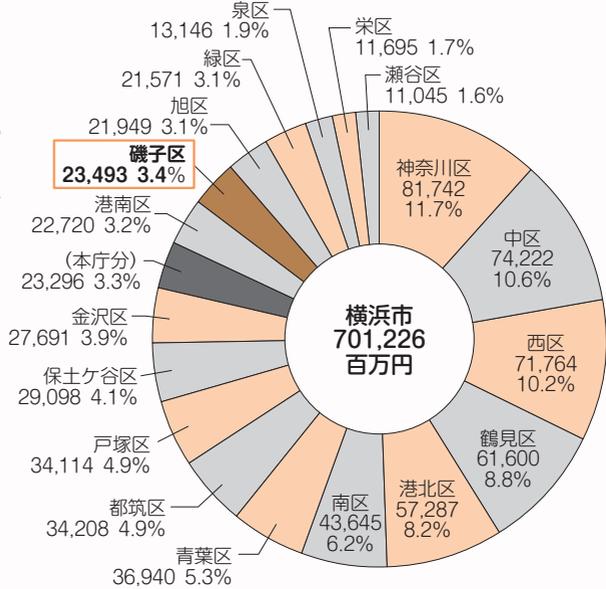
税 金

～市政を支える貴重な財政基盤～

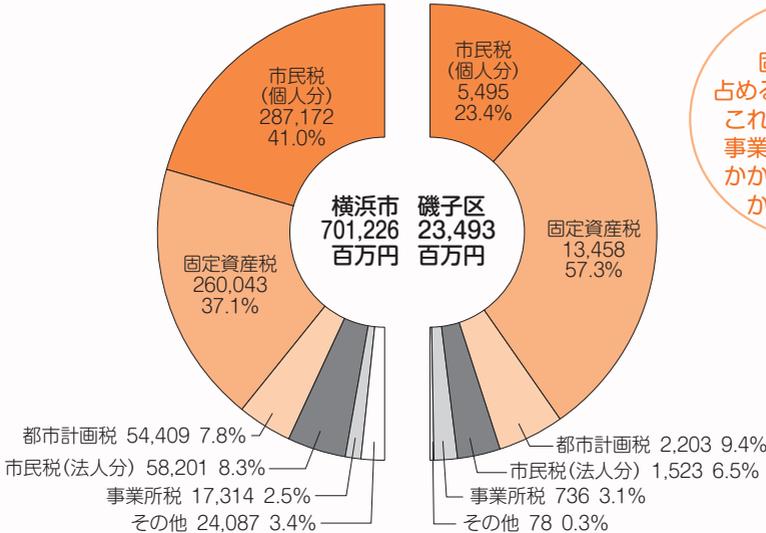
〈市税収入区別割合〉

市税収入は18区中14番目

- ・磯子区の市税収入額は、約**235億円**で市全体の**3.4%**を占めています。
- ・市税収入区別割合は、全市で18区中13番目の規模となっています。



〈市税収入税目別構成比(横浜市・磯子区)〉



磯子区では
固定資産税の
占める割合が多いね。
これは主に沿岸部の
事業所の償却資産に
かかる納税額が多い
からなんだよ。



※収入額及び構成比等は小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも会計とは一致しません。

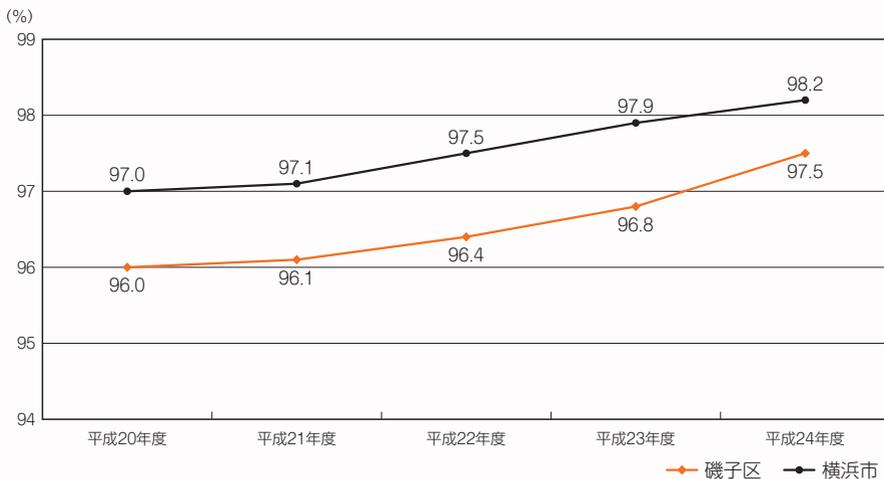
(平成24年度)
〔磯子区税務課〕

◆市税収入歩合 ～横浜市の市税収入歩合は政令指定都市でトップクラス～

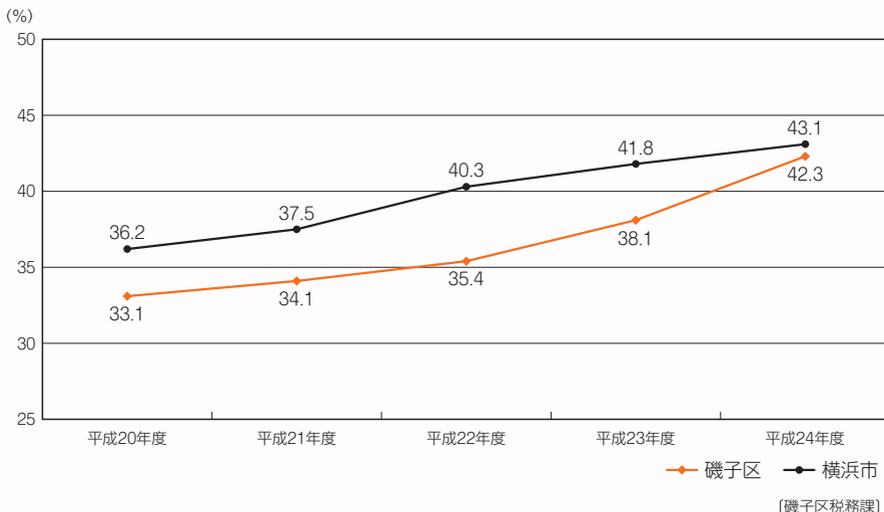
「収入歩合」とは、確定した納付すべき額(調定額)に対する、実際に納付された額(収入済額)の割合です。また、前年度以前に課税されたもので、課税した年度内に納付されず、翌年度以降に繰り越された税額を「滞納繰越分」といい、磯子区では滞納の解消・防止に向けた取組を行うことで、収入歩合の向上を目指しています。

ちなみに、政令指定都市の中で横浜市(98.2%)の市税収入歩合は、名古屋市(98.3%)に次いで第2位となっています。

〈市税収入歩合〉



〈滞納繰越分収入歩合〉



区民ニーズの把握について

◆平成25年度磯子区民意調査

磯子区では、区民の皆さんのご意見を生かした区政運営や予算編成を行うため、区民意識調査を2年ごとに実施しています。今回は平成25年6月に実施しました。

※詳細は区ホームページや区役所1階行政資料閲覧コーナーでみるができます。

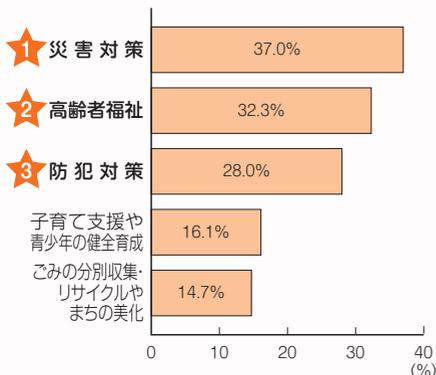
調査の概要

調査対象：区内在住20歳以上の男女3,500人
(住民基本台帳から無作為に抽出)
調査方法：郵送式(郵送配布・郵送回収)
調査時期：平成25年6月14日～28日
回答方法：無記名、選択式(一部記入式)
回収結果：1,894票(回収率54.1%)

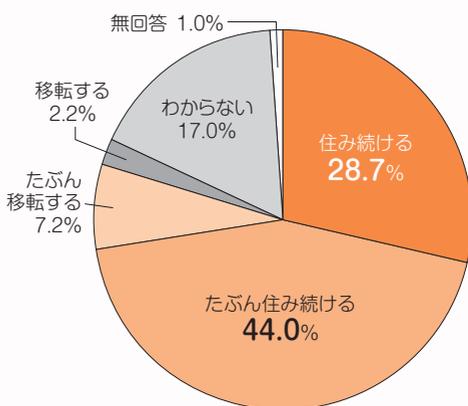
〈調査結果の一部抜粋〉

問 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いものは何だとお考えですか？

(上位5位)



問 これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか？



◆主な広聴等の方法

区民の皆様からのご提案・ご意見を、さまざまな方法でお受けして、区政・市政の運営や新しい施策の検討に生かしていく広聴事業を行っています。区政、市政へのご提案・ご意見をお寄せいただく方法としては主に以下の方法があります。

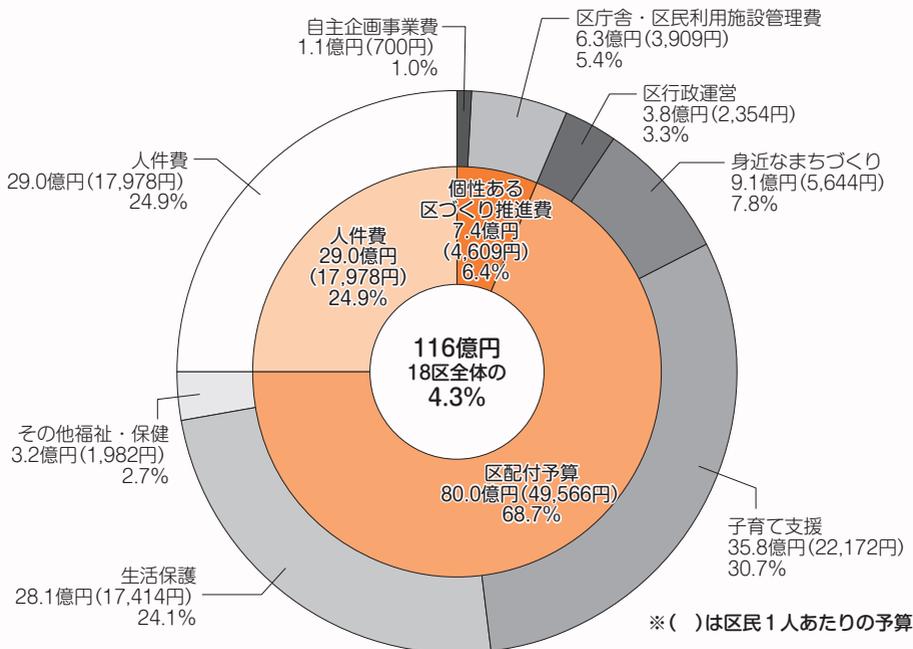
- ・市民からの提案：区役所等の主要施設に用紙を用意しています。インターネットでも受け付けています。
- ・陳情：市長陳情、区長陳情有り、市役所広聴相談課及び区役所区政推進課で受け付けています。

その他、市役所・区役所の制度や各種手続、イベント等のお問い合わせは横浜市コールセンター(☎664-2525)で朝8時から夜9時まで年中無休で受け付けています。

磯子区の予算(平成25年度一般会計予算)

平成25年度に磯子区が執行する予算の規模(区の人件費を含む)は、右下の円グラフのとおり、約**116億円**で、18区の予算全体のおよそ**4.3%**を占めています。

これは、磯子区民16万1,420人(平成25年4月1日現在)の一人あたりに換算すると、約**7万2,153円**を支出していることになります。



◆ 予算の分類

区の予算は次のとおり大きく3つに分けることができます。

■ 「個性ある区づくり推進費」……約7億4,000万円

磯子区の予算の**6.4%**となっています。この中には、「自主企画事業」と「区庁舎・区民利用施設管理費」があり、区が自主的に編成しているものです。

■ 「区配付予算」……約80億円

磯子区に係る予算全体の中で一番大きな部分を占め、全体の**68.7%**におよびます。

■ 「人件費」……約29億円

磯子区の予算のうち、**24.9%**を占めています。磯子区の職員及び再任用職員人件費で退職手当等は除いた試算額です。

<横浜市の財政情報についてはこちら>

「ハマの台所事情」は、予算や財政状況をわかりやすくした広報冊子です。磯子区役所広報相談係、横浜市民情報センターなどで配付しています。

知ってほしい

横浜市の財政情報

「ハマの台所事情」

www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/



磯子区の歴史年表

() 内の数は平成24年2月1日現在のものです。

元号 年 月 日	出 来 事
昭和2年10月1日	区制施行により磯子区が誕生。同時に、鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区が誕生
12月	西根岸町、滝頭町、丸山町、岡村町、磯子町、森町、中原町、杉田町、上中里町、氷取沢町、栗木町、田中町、峰町、矢部野町の14町で発足 磯子町に区役所・磯子警察署が完成
昭和5年4月1日	湘南電気鉄道(現京浜急行電鉄)の黄金町～浦賀間、金沢八景～逗子間が開通。 森駅(現屏風浦駅)が開業
昭和6年1月30日	滝頭町(現磯子一丁目)にじんかい処理所が完成
昭和16年2月1日	軍が杉田町地先5万坪を埋め立てる。また、中根岸町を埋め立て、飛行場を開場
昭和20年4月15日	滝頭町、原町、中根岸町の一部521戸が空襲で焼失
5月29日	西根岸上町、西根岸馬場町、滝頭町、丸山町の一部171戸が空襲で焼失
昭和21年10月7日	区選挙管理委員会を設置
昭和22年4月1日	町内会の行政事務が区に引き継がれる
4月1日	学校教育法が施行され、新学制が始まる。磯子、杉田、根岸、滝頭、浜の5つの国民学校が小学校となる(現在16校)
5月5日	根岸中学校、浜中学校が開校(現在8校)
昭和23年3月7日	警察制度の改革により、横浜市磯子警察署となる(昭30.7.1 神奈川県磯子警察署となる)
5月15日	磯子区から金沢区が分離・独立
昭和25年5月25日	岡村公園が開園
昭和26年4月1日	区社会福祉協議会結成
昭和30年1月	磯子区役所庁舎の大改築が完了
4月1日	市電の八幡橋～間門間が開通(昭47.3.31市電全廃)
昭和31年8月3日	杉田貝塚の発掘を開始
昭和32年11月16日	区制施行30周年記念並びに磯子消防署・磯子公会堂新築落成の祝典を挙行
昭和34年5月23日	根岸線の建設工事に着工
昭和36年7月22日	三殿台埋蔵文化財調査委員会が発掘調査を開始(昭41.4.2 国の史跡に指定)
昭和37年4月1日	県立磯子工業高等学校が開校(現在5校)
昭和38年5月25日	汐見台団地の入居を開始
昭和39年5月3日	埋立地内の産業道路の全線が開通
昭和40年7月1日	横浜プールセンター(マンモスプール)を原町に開設
昭和41年7月19日	南部下水処理場が完成(平17.4.1 「南部水再生センター」に名称変更)
昭和42年6月10日	磯子区総合庁舎の落成式を挙行(磯子三丁目)

元号年月日	出来事
昭和43年4月1日	衛生研究所が滝頭に完成
昭和44年5月13日	円海山周辺を近郊緑地特別保存地区に指定
昭和45年3月17日 6月1日	根岸線の磯子～洋光台間の営業を開始 洋光台団地の入居を開始
昭和48年8月25日	市電保存館が開館
昭和49年10月1日 10月5日	南部児童相談所を洋光台に開設 磯子センター(磯子地区センター、喜楽荘、磯子図書館)が開館(平11.11図書館は磯子区総合庁舎に移転)
昭和50年5月9日	第1回磯子区民会議を開催
昭和51年6月24日	県道横浜逗子線(笹下釜利谷道路)が開通
昭和52年10月1日	磯子区制50周年記念祝典を挙げる
昭和56年2月26日	横浜市南部地域シルバー人材センターが開所(平2.4「シルバー人材センター磯子事務所」に名称変更)
昭和58年5月1日 10月29日	いそご海づり場が根岸湾の埋立地である新磯子町の最先端に完成(平14.10.1「磯子海づり施設」に名称変更) 区のシンボルマークを制定
昭和59年1月18日 5月4日	環境事業局磯子輸送事務所が開所(平17.4「資源循環局磯子輸送事務所」に名称変更) 横浜こども科学館が開館(平20.4.1「はまぎん こども宇宙科学館」の愛称へ)
昭和60年8月1日	市南部地域療育センターが開所
昭和61年3月	都市計画道路環状2号線(笹下地区)が完成
昭和62年2月15日 10月1日 10月6日	磯子スポーツセンターが開館 区制施行60周年を記念して区の木「梅」、区の花「コスモス」を制定 久良岐能舞台が開館
平成元年7月5日	金沢シーサイドラインが開通
平成5年9月4日	洋光台駅前公園こどもログハウスが開館
平成6年4月1日 4月19日 11月8日	根岸在宅支援サービスセンターが開所(平7.1「根岸地域ケアプラザ」に名称変更) 根岸地区センターが開館(現在4か所) 磯子区生涯学習支援センターが開所(平21.3.25から「いそご区民活動支援センター」)
平成8年8月1日	新杉田駅前に行政サービスコーナー、地域ケアプラザ、通所授産施設「ぼこ・あ・ほこ」の複合施設を開設
平成9年9月2日 10月25日	洋光台地域ケアプラザが開所 区制70周年記念式典を挙げる。区の木・区の花のデザインマーク、区の内メー ジソング「みんなの！SOGO」を制定
平成11年4月14日 7月14日	環状3号線(南側区間)が開通 国道357号線(新杉田町～新磯子町)が開通

元号 年 月 日	出 来 事
平成11年 8月1日 10月18日 11月15日	脳血管医療センターが万治病院跡地に開院、併せて老人保健施設が開所 磯子土木事務所が磯子三丁目に移転 磯子区総合庁舎(区役所、公会堂、図書館)が改築され、業務を開始
平成12年 4月1日 8月1日	磯子第二ポンプ場の供用を開始 磯子地域ケアセンターが開所(平15.4.1から「磯子地域ケアプラザ」)
平成13年 2月15日 10月22日	磯子区福祉保健活動拠点が開所(平21.12.13「こすもす広場」に愛称決定) 高速湾岸線の杉田～三溪園間が開通
平成14年 1月1日 9月1日	磯子福祉保健センターが開所 横浜市総合防災訓練を実施(石川島播磨重工業内グラウンド)
平成15年 2月1日	根岸なつかし公園が開園
平成16年 3月1日 5月15日	滝頭地域ケアプラザが開所 磯子区青少年図書館を転換し滝頭コミュニティハウスが開館(現在7か所)
平成17年 1月4日 1月16日 2月5日 3月28日	いそご地域活動ホーム「いぶき」が開所 JR洋光台駅近くに「洋光台防犯活動本部」が開所(防犯活動拠点は現在10か所) 磯子区民文化センター「杉田劇場」が開館 環状2号線屏風ヶ浦バイパスが開通
平成18年11月1日	屏風ヶ浦地域ケアプラザ、生活支援センターが開所
平成19年 5月14日 9月29・30日	磯子・海の見える公園が開園 区制80周年記念事業メインイベントを挙行
平成20年11月1日	よこはま南部ユースプラザが開所
平成21年 3月25日	いそご区民活動支援センターが開所
平成22年 1月19日 4月1日	磯子区地域子育て支援拠点「いそピヨ」グランドオープン(体験利用は平成21年11月27日より開始) 杉田臨海緑地完成部分一部利用開始
平成23年 4月1日 9月1日 10月3日	上笹下地域ケアプラザ開所(現在7か所) 区のマスコットキャラクター「いそっぴ」を制定 たきがしら会館の市民利用開始 水道局磯子・金沢地域サービスセンターが磯子三丁目に移転
平成25年 5月15日 6月8日 9月29日 11月9日 11月28日	氷取沢小学校跡地公園が開園 根岸小学校 創立140周年 磯子まつりパレード復活 杉田小学校 創立140周年 磯子小学校 創立140周年

※140周年は式典日より記載

町別の面積・世帯数・人口のデータ

町名	面積 (ヘクタール)	世帯数	人口			人口密度 (1km ² 当たり)	高齢者 人口 (65歳以上)	高齢者 人口 (75歳以上)	高齢化率
			総数	男	女				
東町	15.9	1,148	2,314	1,076	1,238	14,553.5	546	207	23.6%
西町	14.8	1,319	2,599	1,218	1,381	17,560.8	603	310	23.2%
鳳原町	57.5	0	0	0	0	0	0	0	0
原町	15.4	704	1,328	666	662	8,623.4	272	127	20.5%
下町	9.4	621	1,113	553	560	11,840.4	312	158	28.0%
坂下町	9.4	536	1,090	556	534	11,595.7	266	122	24.4%
馬場町	11.6	659	1,293	644	649	11,146.6	366	175	28.3%
上町	18.6	652	1,343	664	679	7,220.4	321	150	23.9%
丸山一丁目	22.4	1,916	4,260	2,148	2,112	19,017.9	810	341	19.0%
丸山二丁目	10.9	809	1,631	824	807	14,963.3	414	205	25.4%
滝頭一丁目	18.7	1,126	2,485	1,251	1,234	13,288.8	534	235	21.5%
滝頭二丁目	9.1	711	1,417	678	739	15,571.4	460	264	32.5%
滝頭三丁目	11.2	668	1,293	622	671	11,544.6	385	193	29.8%
中浜町	9.6	659	1,311	674	637	13,656.3	373	189	28.5%
岡村一丁目	18.5	1,033	2,231	1,110	1,121	12,059.5	607	300	27.2%
岡村二丁目	17.9	442	1,034	511	523	5,776.5	278	141	26.9%
岡村三丁目	15.3	1,238	2,830	1,409	1,421	18,496.7	669	328	23.6%
岡村四丁目	27	1,220	2,700	1,325	1,375	10,000.0	718	346	26.6%
岡村五丁目	12.3	869	1,823	885	938	14,821.1	542	272	29.7%
岡村六丁目	11.7	523	1,197	593	604	10,230.8	296	123	24.7%
岡村七丁目	17	861	2,073	1,016	1,057	12,194.1	566	251	27.3%
岡村八丁目	22.2	942	2,324	1,120	1,204	10,468.5	504	217	21.7%
広地町★	6.5	564	1,175	554	621	18,076.9	350	196	29.8%
久木町	14.5	1,169	2,379	1,213	1,166	16,406.9	592	288	24.9%
磯子一丁目	15.4	X	X	X	X	X	X	X	X
磯子二丁目	25.9	2,230	4,472	2,261	2,211	17,266.4	873	406	19.5%
磯子三丁目	25.5	2,015	3,672	1,795	1,877	14,400.0	920	417	25.1%
磯子四丁目	8.9	399	832	402	430	9,348.3	218	102	26.2%
磯子五丁目	13.2	562	1,419	685	734	10,750.0	372	109	26.2%
磯子六丁目	18.1	991	2,472	1,216	1,256	13,657.5	565	266	22.9%
磯子七丁目	15.2	714	1,742	841	901	11,460.5	342	140	19.6%
磯子八丁目	8	529	1,223	596	627	15,287.5	286	136	23.4%
新磯子町★	135.9	X	X	X	X	X	X	X	X
汐見台1丁目	70.4	1,110	2,515	1,329	1,186	3,572.4	409	177	16.3%
汐見台2丁目		1,120	2,335	1,321	1,014		334	180★	14.3%
汐見台3丁目		1,152	2,652	1,345	1,307		494	210	18.6%
森一丁目	14.5	2,996	5,717	2,603	3,114	★39427.6	1884	898	33.0%
森二丁目	21.6	997	2,023	1,009	1,014	9,365.7	412	182	20.4%
森三丁目	17.7	1,440	2,669	1,316	1,353	15,079.1	728	325	27.3%

町名	面積 (ヘクタール)	世帯数	人口			人口密度 (1km ² 当たり)	高齢者 人口 (65歳以上)	高齢者 人口 (75歳以上)	高齢化率
			総数	男	女				
森四丁目	16.3	935	2,290	1,138	1,152	14,049.1	337	158	14.7%
森五丁目	26.8	833	1,793	868	925	6,690.3	440	207	24.5%
森六丁目	23.9	1,242	2,753	1,352	1,401	11,518.8	666	347	24.2%
森が丘一丁目	12.1	660	1,441	704	737	11,909.1	430	249	29.8%
森が丘二丁目	15.3	815	1,818	861	957	11,882.4	498	279	27.4%
新森町	21.7	0	0	0	0	0	0	0	0
中原一丁目	9.8	1,122	1,784	899	885	18,204.1	513	221	28.8%
中原二丁目	13.3	997	1,813	922	891	13,631.6	461	224	25.4%
中原三丁目	14.5	1,009	2,291	1,164	1,127	15,800.0	474	220	20.7%
中原四丁目	16.2	1,082	2,241	1,108	1,133	13,833.3	530	269	23.7%
新中原町	43.7	0	0	0	0	0	0	0	0
杉田一丁目	11.7	888	1,763	840	923	15,068.4	439	215	24.9%
杉田二丁目	12.6	1,108	2,477	1,187	1,290	19,658.7	630	285	25.4%
杉田三丁目	31.5	1,707	3,626	1,821	1,805	11,511.1	874	397	24.1%
杉田四丁目	12.7	1,261	2,332	1,216	1,116	18,362.2	487	215	20.9%
杉田五丁目	44	1,328	2,811	1,439	1,372	6,388.6	633	312	22.5%
杉田六丁目	17.9	1,062	2,540	1,299	1,241	14,189.9	520	226	20.5%
杉田七丁目	14.5	865	1,967	957	1,010	13,565.5	701	277	35.6%
杉田八丁目	21.8	1,133	2,662	1,288	1,374	12,211.0	869	495	32.6%
杉田九丁目	13.6	537	1,454	737	717	10,691.2	276	135	19.0%
新杉田町	102	239★	376	183	193★	368.6★	90★	38	23.9%
栗木一丁目	15.9	906	2,048	1,026	1,022	12,880.5	555	286	27.1%
栗木二丁目	19.3	859	2,074	1,023	1,051	10,746.1	418	165	20.2%
栗木三丁目	16.9	845	2,054	1,018	1,036	12,153.8	473	215	23.0%
田中一丁目	14.5	719	1,741	864	877	12,006.9	341	173	19.6%
田中二丁目	16	963	2,195	1,108	1,087	13,718.8	373	167	17.0%
上中里町	95.9	1,834	4,070	2,008	2,062	4,244.0	1,220	465	30.0%
氷取沢町	115.3	1,374	3,228	1,576	1,652	2,799.7	908	288	28.1%
峰町	80.7★	186	426	224	202	527.9	124	65	29.1%
洋光台一丁目	25.5	1,111	2,609	1,277	1,332	10,231.4	519	306	19.9%
洋光台二丁目	31.9	2,223	4,332	2,077	2,255	13,579.9	1,626	755★	37.5%
洋光台三丁目	33.3	2,209	4,342	2,162	2,180	13,039.0	1,077	534	24.8%
洋光台四丁目	34.9	1,855	3,756	1,817	1,939	10,762.2	1,218	700	32.4%
洋光台五丁目	40.5★	3,004★	6,353	2,967	3,386	15,686.4★	2,140★	993★	33.7%
洋光台六丁目	43.1	1,651	3,837	1,902	1,935	8,902.6	760	379	19.8%
磯子台	20.7	908	2,142	1,008	1,134	10,347.8	439	229	20.5%
杉田坪呑	14	658	1,739	859	880	12,421.4	315	106	18.1%
合計	1,902	76,826	164,239	80,965	83,274	862,311	41,032	19,294	25.0%

[平成25年9月30日現在の住民基本台帳記載人口と外国人登録人口の合計]

★は各項目の最大値、☆は各項目の最小値です。(0および秘匿は除く)

統計調査

統計調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料として活用されています。また、企業や学校などの教材や研究資料としても幅広く利用されています。

〈主な基幹統計調査〉

「統計法」に基づき国や地方公共団体が作成する統計のうち重要なものについて、総務大臣が指定したものを基幹統計といい、基幹統計を作成するための調査を基幹統計調査といいます。

調査名	次回期日	周期	所管省庁
学校基本調査	平成26年5月1日	毎年	文部科学省
経済センサス 基礎調査	平成26年7月1日	5年	総務省
商業統計調査	平成26年7月1日	5年	経済産業省
全国消費実態調査	平成26年9月～11月	5年	総務省
工業統計調査	平成26年12月31日	毎年(※)	経済産業省
農林業センサス	平成27年2月1日	5年	農林水産省
国勢調査	平成27年10月1日	5年	総務省
経済センサス 活動調査	平成29年2月1日	5年	総務省、経済産業省
就業構造基本調査	平成29年10月1日	5年	総務省
住宅・土地統計調査	平成30年10月1日	5年	総務省
漁業センサス	平成30年11月1日	5年	農林水産省

※…経済センサス活動調査を実施する年度は経済センサスに統合。



総務省統計局イメージキャラクター

実際の調査では、県知事に任命された調査員が調査票を持って伺います。その際は、国の重要な統計調査に、是非ともご協力をお願いします。

〈主な統計調査の流れ〉



横浜市ホームページ内の「横浜市統計ポータルサイト」では横浜市の最新の人口・世帯数や、主要な統計情報を提供しています。是非ご活用ください。

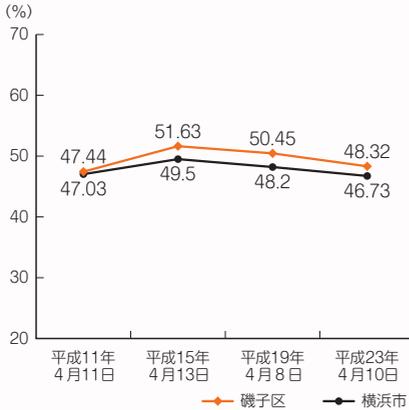
アドレス <http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>

モバイル版はこちら <http://m.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>

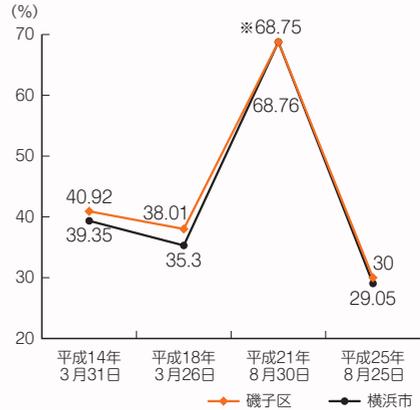
選 挙

◆各選挙の投票率 ～政治参加のバロメーター「投票率」は国政選挙と地方選挙で大きな差に～
各選挙の投票率をみると、投票率は近年共通して低下傾向にあります。また、国政選挙（衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙）と地方選挙（統一地方選挙・市長選挙）では投票率に顕著な差があり、どの選挙も低下傾向にありつつも、国政選挙は50%～70%で、地方選挙では30%～50%で推移しており、地方選挙の投票率の低さが目立ちます。

〈統一地方選挙(数値は市議会議員選挙のもの)〉

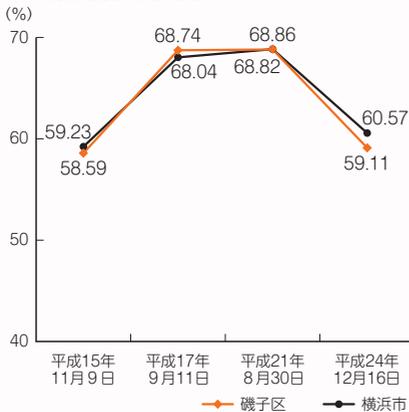


〈市長選挙〉

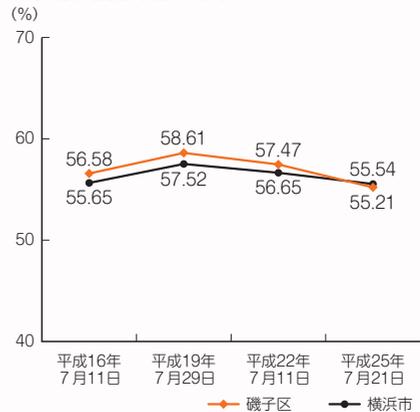


※21年の市長選挙は衆議院議員総選挙と同日に行われ、磯子区68.74%、横浜市68.04という高投票率を記録しました。

〈衆議院議員総選挙〉



〈参議院議員通常選挙〉



磯子区は、地域ごとに全36投票所があります。各選挙ごとに定められた選挙日前に投票できる期日前投票所も、区内に2か所(区役所区民ホール・はまぎんこども宇宙科学館)あります。(平成25年横浜市長選時)

◆参議院選挙(平成25年7月21日執行)及び横浜市長選挙(平成25年8月25日執行)
 〈区別投票率：選挙区〉

磯子区の投票率は、参議院議員通常選挙で55.2%(11位)と市内の平均を下回り、一方横浜市長選挙では、30.0%(8位)と市内の平均を上回る結果となりました。

区	投票率(%)			
	参院選	順位	市長選	順位
鶴見区	52.4	16	26.3	18
神奈川区	51.7	18	26.5	17
西区	54.2	14	28.8	11
中区	51.8	17	27.3	16
南区	53.1	15	28.3	13
港南区	57.6	4	30.8	4
保土ヶ谷区	56.1	8	29.3	9
旭区	56.4	7	30.4	5
磯子区	55.2	11	30.0	8
金沢区	59.1	2	31.4	3
港北区	55.2	10	28.3	12
緑区	55.5	9	28.9	10
青葉区	57.8	3	27.5	15
都筑区	55.2	12	28.0	14
戸塚区	56.5	6	30.3	6
栄区	61.1	1	32.6	1
泉区	57.2	5	31.6	2
瀬谷区	54.7	13	30.3	7
横浜市計	55.5		29.1	

〈棄権の理由

(第14回投票参加状況調査より))

平成23年4月10日執行の横浜市議会議員選挙の後に実施した投票参加状況調査では、

- どの候補者がよいかわからない (30.2%)
- あまり関心がなかった (15.1%)
- 病気があった(看病を含む) (13.1%)
- 仕事や商売が忙しかった (12.0%)
- 選挙より重要な予定が既に決まっていた (6.4%)
- 当選する人がほぼ決まっていた (4.6%)
- 投票所が遠く、不便だから (0.9%)
- その他、無回答 (17.6%)

このような調査結果が得られたよ。
 家族で政治について話す機会を設けたり、期日前投票を利用して、できるだけ多くの人に投票に来てほしいな。

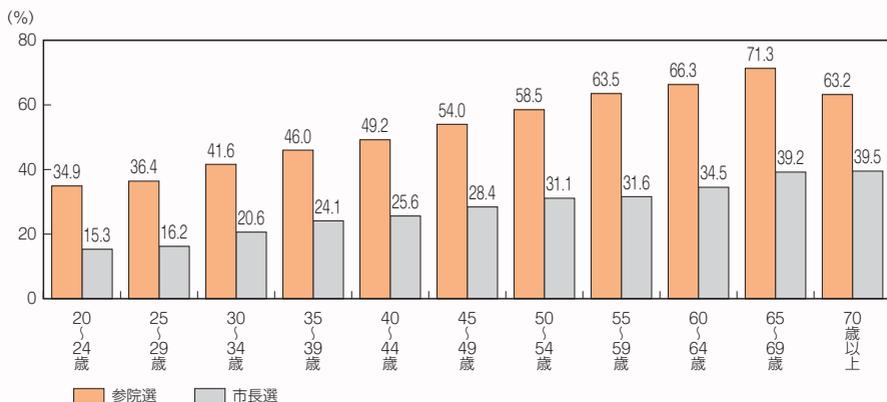


横浜市選挙管理委員会
 マスコット イコッチちゃん

〈年齢別投票率(磯子区)〉～若年層の投票率が低い状況が続く～

参議院議員通常選挙、横浜市長選挙ともに20代の投票率が低いのが目立ちます。

このような傾向を受け、磯子区選挙管理委員会では、「せんきょフォーラム」「磯子まつり」での啓発「映画会・講演会の実施」などにより、若年層の投票率向上を呼びかけています。



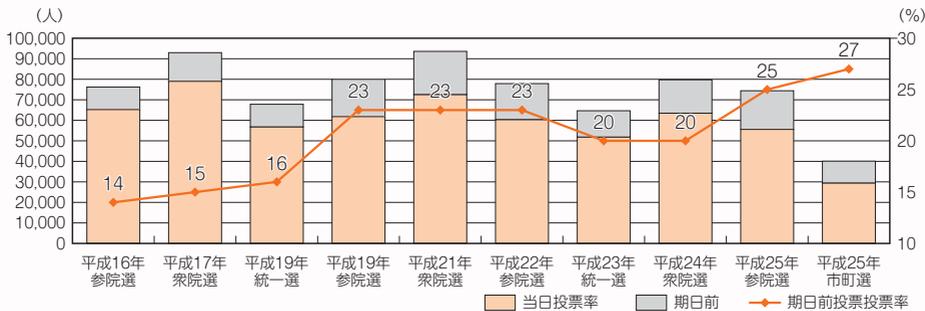
◆期日前投票割合の推移(磯子区) ～創設当初から2倍に、制度が浸透～

期日前投票制度は、平成15年の公職選挙法の改正により創設され、同年12月1日から施行されました。

この改正によって、簡易な手続きで、選挙期日前であっても選挙期日と同じく投票を行うことができるようになりました。

投票者数に占める期日前投票者数の割合は、**制度創設当初の14%**(平成16年執行 参議院議員通常選挙)という値から、**現在27%**(平成25年執行 横浜市長選挙)にまで、約2倍近くに上昇しています。

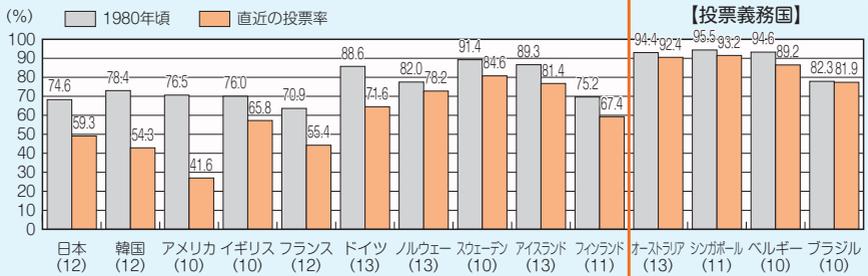
しかし、投票率は年々低下傾向にあることから、当日投票に行っていた人が期日前投票制度を利用するようになったと推測することができます。また、投票率の低い若年層の投票率の底上げが課題となっており、引き続きさまざまな啓発を行っていきます。



コラム10

世界各国の投票率 ～世界的に投票率は低下傾向～

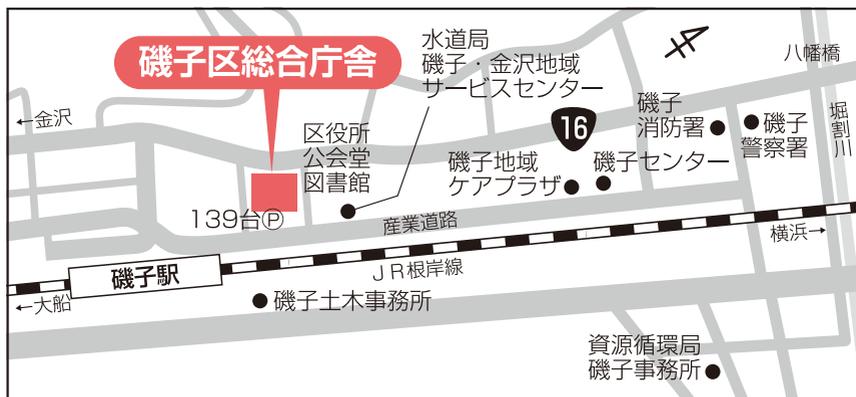
世界には195もの国があり、そのほとんどの国で選挙が行われています。世界の国々の投票率の推移にはどんな傾向があるのでしょうか。



世界各国の直近の選挙の投票率と、30年前頃(1980年頃)に執行された選挙の投票率をグラフ化しました。

投票率は、世界的に低下傾向にあることがわかります。しかし、投票が「義務」とされている国々や北欧諸国は比較的低下の程度は低く、そうでない国々の低下の度合いは大きくなっています。

投票は、国民が政治に参加する大切な機会です。投票に行かなければ、将来の暮らしに自分たちの意見が反映されないかもしれません。自分たちだけでなく、自分たちよりももっと若い世代のためにも、選挙権をお持ちの方はぜひ投票に行きましょう。



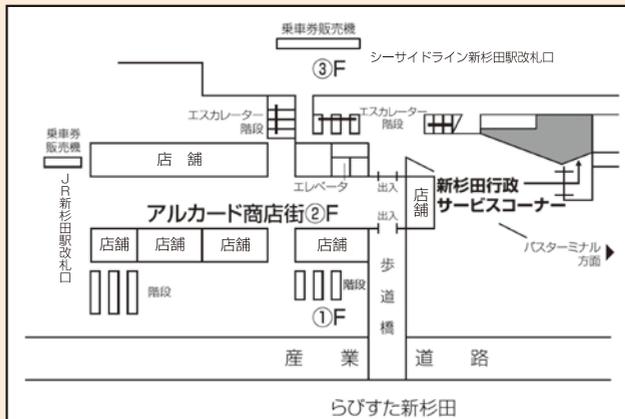
- アクセス 〒235-0016 磯子区磯子3-5-1
磯子駅西口(JR) 徒歩5分/有料㊤あり
- ホームページ
- 携帯版 <http://m.city.yokohama.lg.jp/is/>



〔新杉田行政サービスコーナーのご案内〕

区役所の業務時間外でも住民票の写しや印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書(謄本)などの証明書の発行を行っています。証明書の種類や受付日時によってはその場でお渡しできないこともありますので、事前にご確認ください。

TEL : 773-2701



平成26年1月発行
 発行元 横浜市磯子区総務部総務課統計選挙係
 〒235-0016
 横浜市磯子区磯子三丁目5番1号
 TEL 045-750-2316~7
 FAX 045-750-2530
 印刷 山王印刷株式会社

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。